

令和5年度

# 横手市職員満足度アンケート調査

## 結果報告書

### 目次

1. 調査の概要	1
2. 基礎項目	2
3. ES分析の流れ	3
4. ES分析（全体・部局別）	4
(1) 総務企画部	15
(2) 財務部	17
(3) まちづくり推進部（本庁）	19
(4) まちづくり推進部（地域局）	21
(5) 市民福祉部	23
(6) 農林部	25
(7) 商工観光部	27
(8) 建設部	29
(9) 上下水道部	31
(10) 行政委員会等	33
(11) 教育委員会	35
(12) 消防	37
5. ES分析（年代別）	39
(1) 29歳以下	39
(2) 30～39歳	41
(3) 40～49歳	43
(4) 50歳以上	45
6. 自由記載	47
7. 調査票	48
8. 単純集計一覧（属性を除く）	50

令和6年3月

横手市総務企画部 経営企画課

# 1. 調査の概要

## 1. 調査目的

「第2次 横手市行財政改革アクションプラン」の取り組み項目である「組織改革の推進」を目指し、職場環境の改善を図る。

職員の意識及びその変化を継続的に調査・分析し、仕事や職場に対する総合的な満足度を向上させるための課題分野を把握する。把握した課題分野については、必要に応じて担当課による調査・対応等を個別に行う。

## 2. 調査項目

総合的な満足度に加え、下記の分野別の設問に対し、「そう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「分からない」の5段階で回答する。

## 3. 調査対象

正職員 1,029人（病院職員、他機関・団体からの派遣職員、再任用職員を除く）

## 4. 調査期間

令和6年2月13日（火）～2月26日（月）

## 5. 調査方法

① 庁内限定のアンケートフォーム

② 調査票に記入

のいずれかにより各職員が回答する。

## 6. 満足度の算出方法

「そう思う」「まあそう思う」と回答した人の数を、「分からない」と回答した人を除く有効回答者数で除した数値を満足度と定義して満足度を算出する。

## 2. 基礎項目

今回の調査では自由記載欄（問 25）を除き、必須回答項目。

### ■ 回答状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象職員数	1,117	1,081	1,029
有効回答者数	643	669	614
有効回答率	57.6%	61.9%	59.7%

### ■ 所属別回答状況

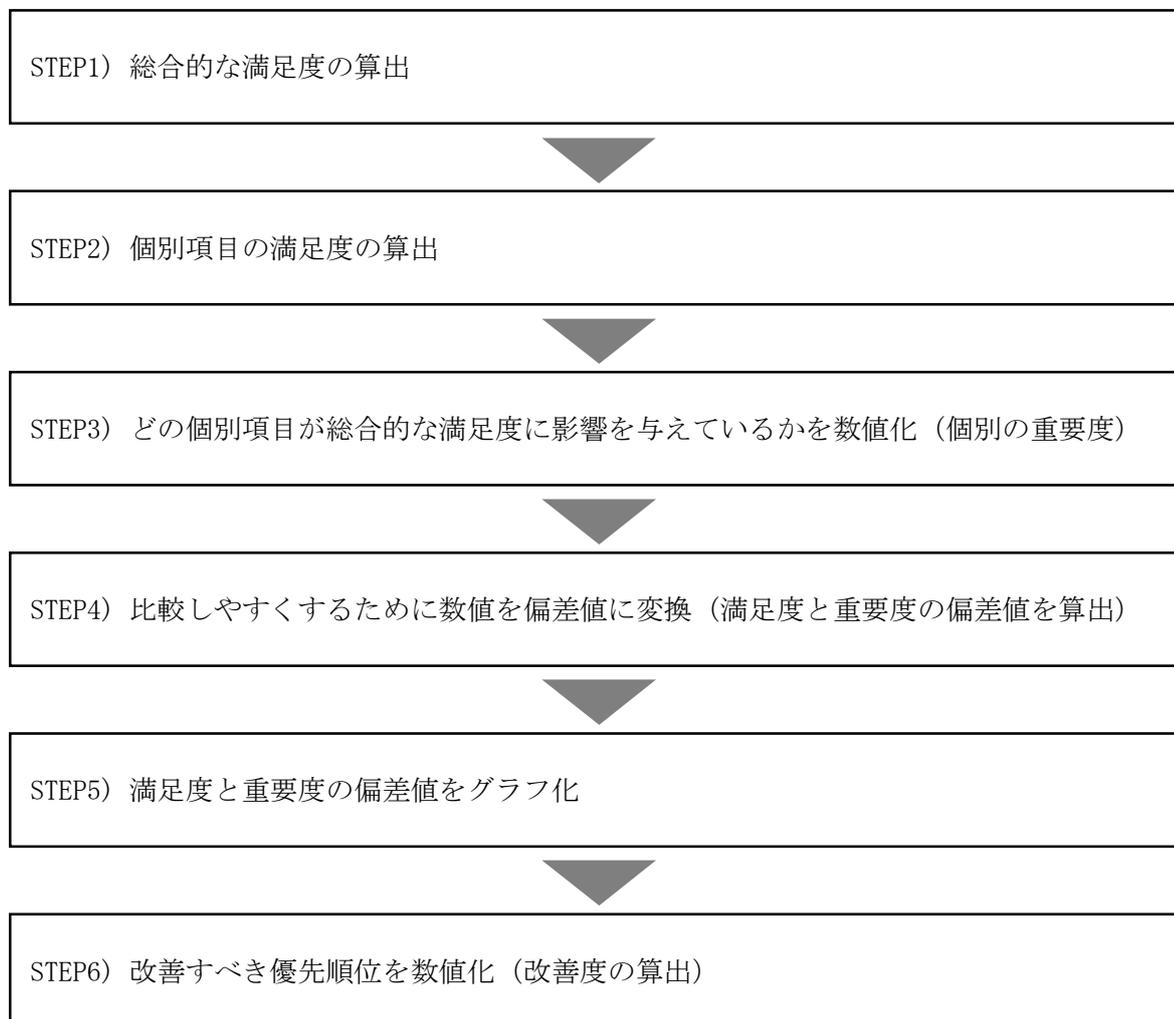
所属	対象職員数	有効回答者数	有効回答率
総務企画部	61	47	77.0%
財務部	59	32	54.2%
まちづくり推進部(本庁)	22	16	72.7%
まちづくり推進部(地域局)	231	127	55.0%
市民福祉部	226	110	48.7%
農林部	40	25	62.5%
商工観光部	32	26	81.3%
建設部	41	26	63.4%
上下水道部	37	22	59.5%
行政委員会等	28	18	64.3%
教育委員会	84	41	48.8%
消防	168	124	73.8%
合計	1,029	614	59.7%

### ■ 年代別回答状況

所属	対象職員数	有効回答者数	有効回答率
29歳以下	141	75	53.2%
30歳以上39歳以下	177	116	65.5%
40歳以上49歳以下	311	188	60.5%
50歳以上	400	235	58.8%
合計	1,029	614	59.7%

### 3. ES分析の流れ

ES (Employee Satisfaction : 従業員満足度) の分析は、次の流れで行う。



#### 【設問一覧】

総合 (1問)	(1) 総合的な満足度		
個別項目 (23問)	(2) やりがい	(3) 昇任に対する意欲	(4) 誇りや使命感
	(5) 職場の人間関係	(6) 情報共有	(7) 参画の機会
	(8) 関係部署との連携	(9) 業務の見直し	(10) 就業意欲
	(11) 後輩の育成	(12) 協力し合う風土	(13) 職員研修
	(14) 自身の目標	(15) 自身の成長	(16) 自身への評価
	(17) 見合った給与	(18) 人事給与制度	(19) キャリア形成
	(20) 精神的な安定	(21) 職場の物理的環境	(22) 休暇の取得
	(23) 総労働時間	(24) ワークライフバランス	

## 4. E S 分析（全体・部局別）

### STEP 1) 総合的な満足度の算出

問 1 総合的に考えて、現在の仕事・職場に満足している。

- 全体の満足度は 73.3% で、前回から 2.8% 減少。
- 農林部が大きく上昇している。
- 行政委員会等、まちづくり推進部（本庁）、建設部が大きく減少している。
- 年代別では 30 代が上昇しているが、その他の全年代で減少している。

表 4-1 総合的な満足度の算出

	不満足傾向		満足傾向(満足度)		合計
	そう思わない	あまり そう思わない	まあそう思う	そう思う	
実数	42	122	338	112	614
割合	6.8%	19.9%	55.0%	18.2%	100.0%
	26.7%		73.3%		

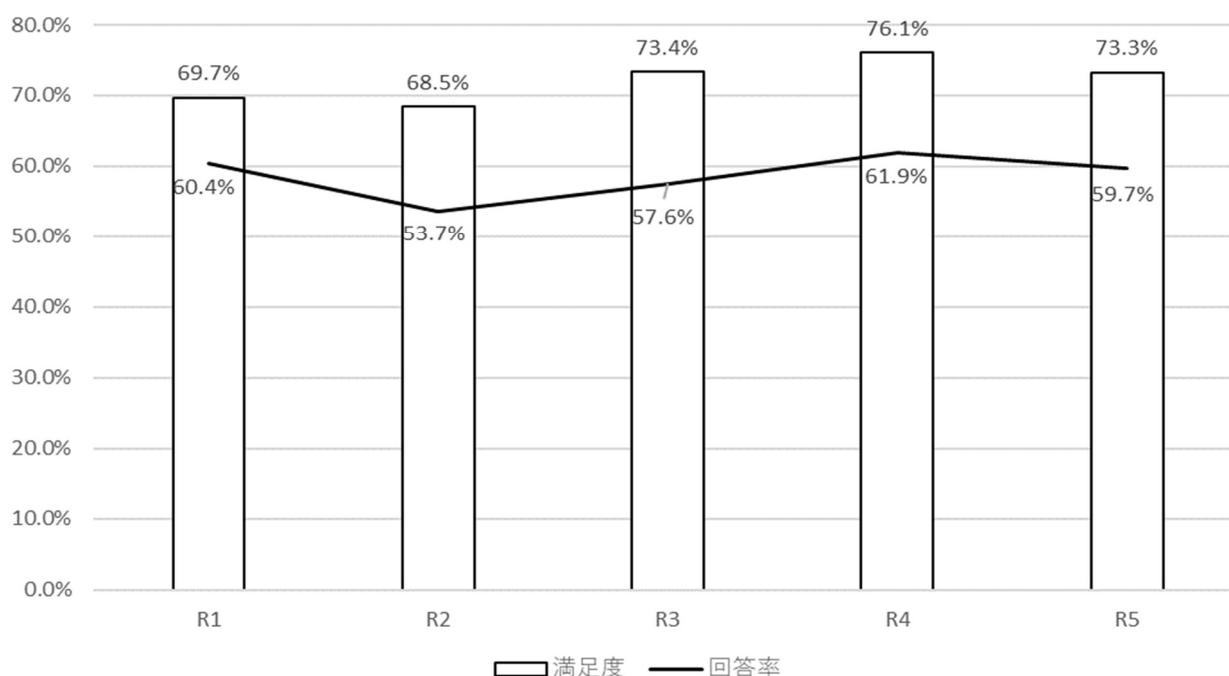


図 4-2 過去 5 年間の満足度と回答率の推移

(参考) 属性別の満足度

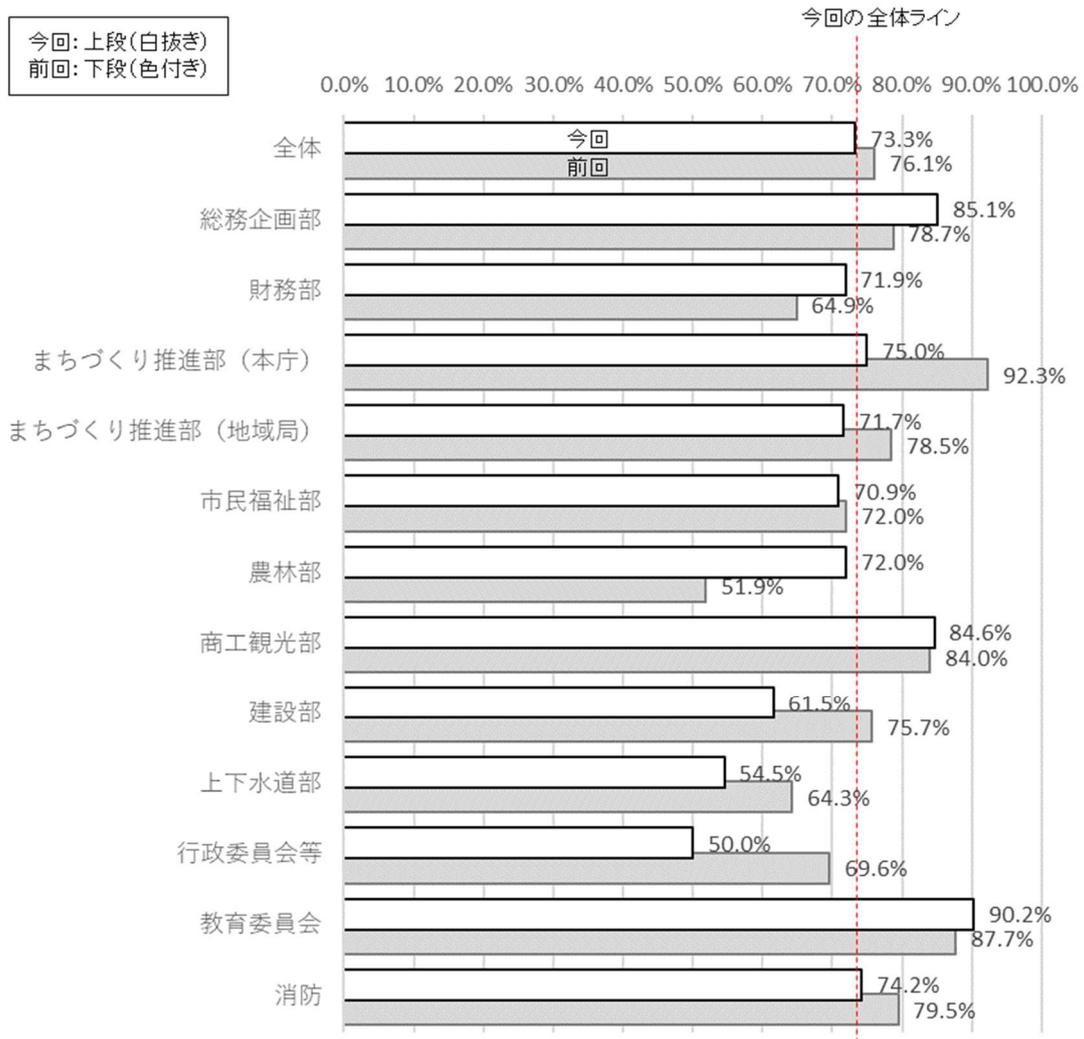


図 4-3 総合的な満足度 (全体および所属別)

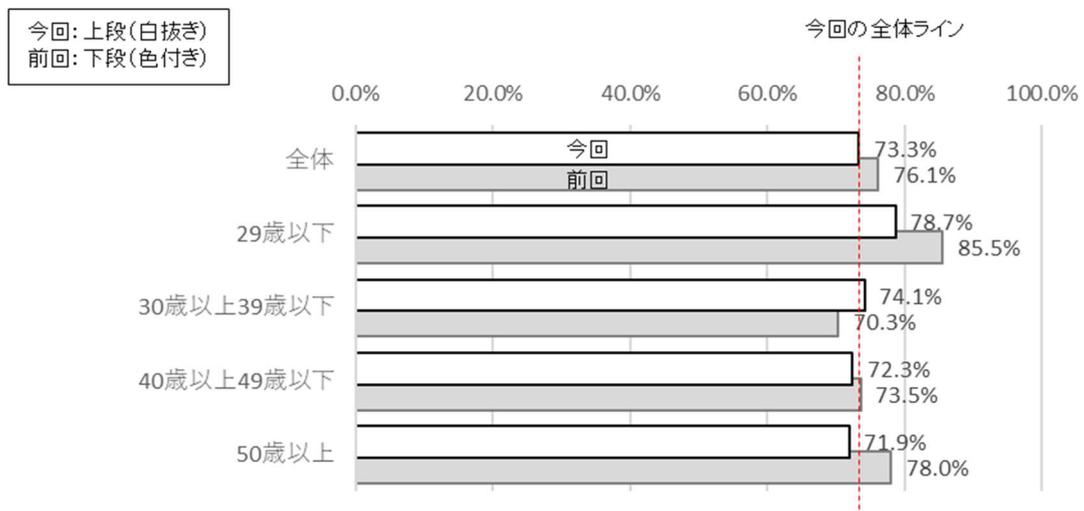


図 4-4 総合的な満足度 (全体および年代別)

## STEP 2) 個別項目の満足度の算出

STEP 1) と同様に、個別の項目における満足度を算出する。

- 90%近い職員が「(4)横手市の職員として誇りや使命感をもって仕事に取り組んでいる」。
- 不満足（意向がない）傾向が強い項目は、前年度に引き続き「(18)人事給与制度」「(3)昇任に対する意欲」「(20)精神的な安定」の3項目。

表 4-5 個別項目の満足度（意向度）／数値の高い順に並び替え

項目	満足度	前回結果	増減
(4)誇りや使命感	89.3%	91.7%	-2.4%
(6)情報共有	86.9%	87.1%	-0.2%
(5)職場の人間関係	79.8%	81.5%	-1.7%
(2)やりがい	76.6%	79.3%	-2.7%
(7)参画の機会	76.4%	77.3%	-0.8%
(12)協力し合う風土	76.1%	81.8%	-5.7%
(11)後輩の育成	74.3%	78.2%	-3.9%
(22)休暇の取得	74.2%	74.2%	0.0%
(23)労働時間	74.0%	73.1%	0.9%
(8)関係部署との連携	72.5%	75.9%	-3.4%
(15)自身の成長	71.0%	75.2%	-4.2%
(14)自身の目標	67.3%	71.1%	-3.8%
(24)ワークライフバランス	65.9%	64.9%	1.1%
(10)就業意欲	64.9%	64.7%	0.3%
(16)自身への評価	59.3%	62.9%	-3.5%
(17)見合った給与	59.1%	64.6%	-5.6%
(9)業務の見直し	55.6%	58.3%	-2.7%
(13)職員研修	55.4%	56.9%	-1.5%
(21)職場の物理的環境	52.3%	53.1%	-0.8%
(19)キャリア形成	49.4%	54.6%	-5.2%
(20)精神的な安定	45.8%	49.9%	-4.2%
(3)昇任に対する意欲	35.4%	36.8%	-1.4%
(18)人事給与制度	29.2%	31.5%	-2.3%

※青の塗りつぶしは、前回から5%以上の減少があった項目

【全体】

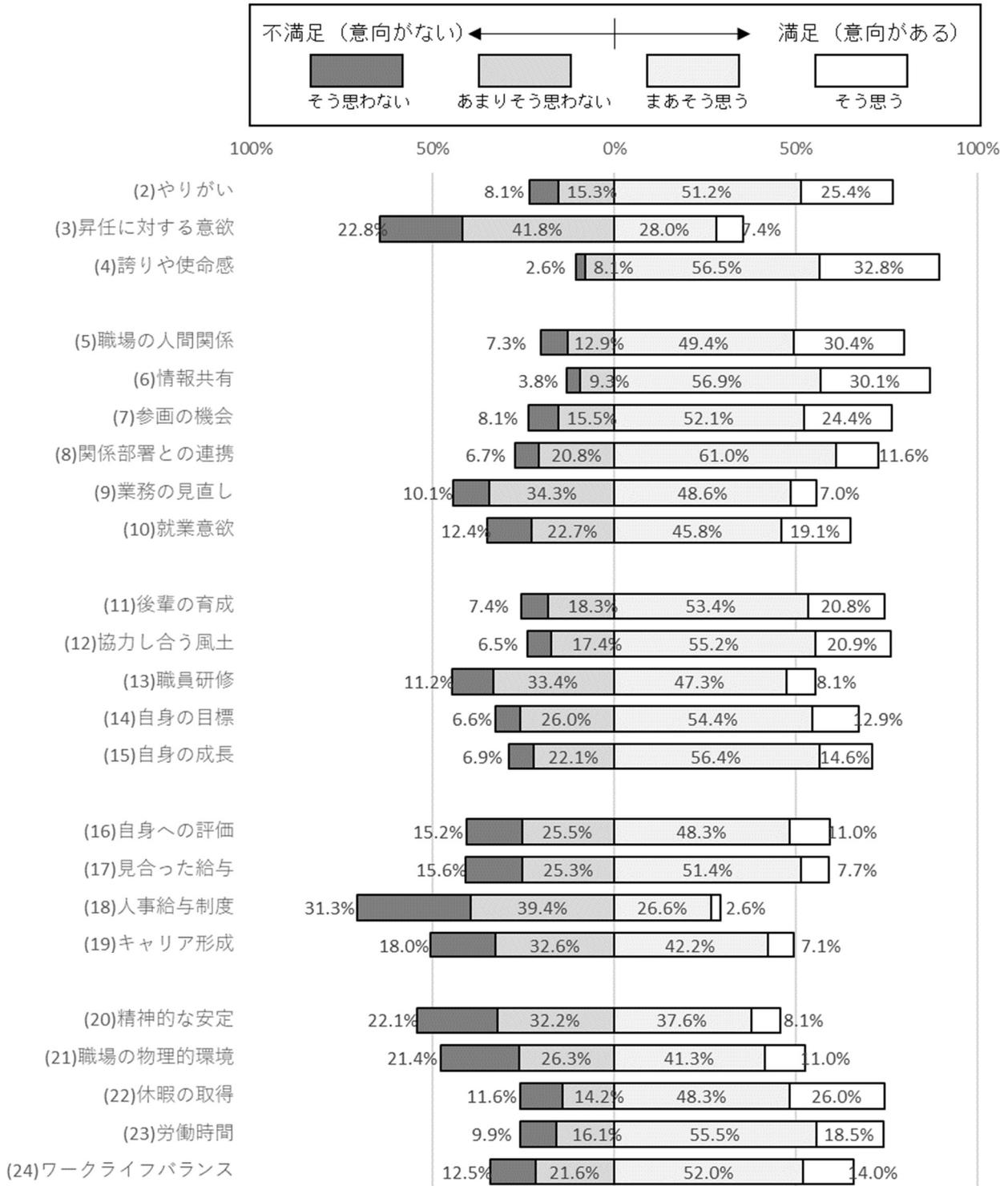


図 4-6 個別項目の満足度（意向度）

ここで求めた個別項目の満足度について、それぞれの項目が STEP 1) で算出した「総合的な満足度」にどの程度影響を与えているかを考察する。

### STEP 3) 個別の重要度の算出

回答した職員が各設問のどの項目を重要視しているかを数値化し、重要度と定義する。

重要度は、STEP2) で求めた「個別項目の満足度」とSTEP 1) で求めた「総合的な満足度」の相関係数を採用する。

相関係数は次の式で求められ、その絶対値によって相関関係の度合いの目安とすることができる。

$n$  個の2変数データ  $(x_1, y_1), (x_2, y_2), \dots, (x_n, y_n)$

$$r = \frac{s_{xy}}{s_x \times s_y} = \frac{\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})(y_i - \bar{y})}{\sqrt{\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2} \times \sqrt{\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (y_i - \bar{y})^2}}$$

$r$	$x$ と $y$ の相関係数
$s_{xy}$	$x$ と $y$ の共分散
$s_x$	$x$ の標準偏差
$s_y$	$y$ の標準偏差
$n$	データの総数
$(x_i, y_i)$	$i$ 番目のデータの値
$\bar{x}$	$x$ の平均
$\bar{y}$	$y$ の平均

※ここで、変数  $x$  と  $y$  は、それぞれ「総合的な満足度」と「個別項目の満足度」を指す。

- 0.7 ≤ |相関係数  $r$ | ≤ 1.0 強い相関がある
- 0.4 ≤ |相関係数  $r$ | < 0.7 かなり相関がある
- 0.2 ≤ |相関係数  $r$ | < 0.4 やや相関がある
- 0.0 ≤ |相関係数  $r$ | < 0.2 ほとんど相関がない

項目	重要度
(2) やりがい	0.755
(10) 就業意欲	0.662
(20) 精神的な安定	0.532
(24) ワークライフバランス	0.474
(5) 職場の人間関係	0.458
(12) 協力し合う風土	0.458
(15) 自身の成長	0.423
(4) 誇りや使命感	0.387
(16) 自身への評価	0.387
(11) 後輩の育成	0.383
(8) 関係部署との連携	0.377
(9) 業務の見直し	0.368
(23) 労働時間	0.365
(21) 職場の物理的環境	0.361
(13) 職員研修	0.357
(14) 自身の目標	0.349
(18) 人事給与制度	0.347
(17) 見合った給与	0.338
(19) キャリア形成	0.329
(22) 休暇の取得	0.310
(6) 情報共有	0.308
(7) 参画の機会	0.299
(3) 昇任に対する意欲	0.295

【相関係数 ( $r$ )】  $-1 \leq r \leq 1$

プラス 1 に近いほど正の相関が強い。

→ 片方が増えれば片方も増える傾向

マイナス 1 に近いほど負の相関が強い。

→ 片方が増えれば片方が減る傾向

## STEP 4) 満足度と重要度の偏差値の算出

STEP 1) から STEP 3) で満足度と重要度を求めた。

満足度は 0.292～0.893 (数値標記)、重要度は 0.295～0.755 とバラツキがあり、また、重要度はマイナスの値をとる可能性もあるため、両者を単純に比較することはできない。

そこで、満足度と重要度のバラツキを揃えて比較しやすくするために、満足度と重要度を偏差値に変換する。

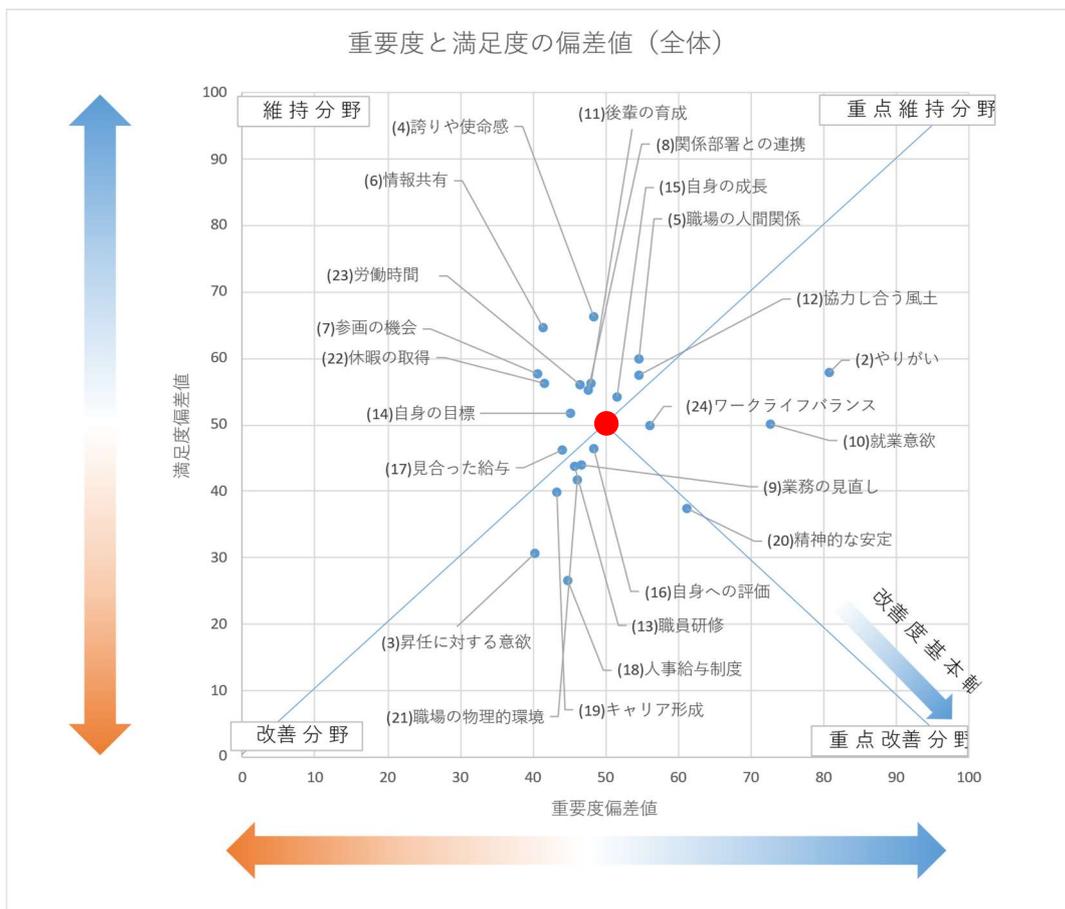
偏差値は、サンプルの中でどれくらいの位置にいるかを示す値で平均は 50.0。

	満足度偏差値	重要度偏差値
(2)やりがい	57.8	80.9
(3)昇任に対する意欲	30.6	40.3
(4)誇りや使命感	66.2	48.4
(5)職場の人間関係	59.9	54.6
(6)情報共有	64.6	41.4
(7)参画の機会	57.7	40.6
(8)関係部署との連携	55.1	47.5
(9)業務の見直し	44.0	46.7
(10)就業意欲	50.1	72.6
(11)後輩の育成	56.3	48.0
(12)協力し合う風土	57.5	54.6
(13)職員研修	43.8	45.7
(14)自身の目標	51.7	45.1
(15)自身の成長	54.1	51.5
(16)自身への評価	46.4	48.4
(17)見合った給与	46.2	44.1
(18)人事給与制度	26.5	44.8
(19)キャリア形成	39.8	43.3
(20)精神的な安定	37.5	61.2
(21)職場の物理的環境	41.8	46.1
(22)休暇の取得	56.2	41.6
(23)労働時間	56.1	46.5
(24)ワークライフバランス	49.9	56.0

## STEP 5) 満足度と重要度の偏差値をグラフ化

STEP 4) の結果を散布図に落とし、重要度と満足度の偏差値の平均座標値 (50, 50) を中心に、グラフエリアを上下左右に4分割する。

- 重点維持分野：重要度偏差値、満足度偏差値ともに高い分野
- 重点改善分野：重要度偏差値が高く、満足度偏差値が低い分野＝優先的に改善すべき分野
- 改善分野：満足度偏差値が低い、重要度偏差値も低い分野
- 維持分野：満足度偏差値が高く、重要度偏差値が低い分野



また、グラフの左下 (0, 0) から右上 (100, 100) に対角線を引くと、次のように判断することができる。

- 対角線よりも右下に位置する項目 → 改善の優先度が高い項目
- 対角線よりも左上に位置する項目 → 改善の優先度が比較的に低い項目

## STEP 6) 改善度の算出

---

グラフを見ただけでは優先的に改善すべき項目を判断しにくいいため、各項目の位置から改善すべき優先順位に応じて得点化した「改善度」を算出する。

まず、平均値座標 (50, 50) から座標 (100, 0) を通る直線 (この直線を「改善度基本軸」と呼ぶ。) を引き、重要度偏差値が高く満足度偏差値が低い項目を判断する基準線とする。

### 【改善度の算出方法】

#### ① 平均値座標から各項目の座標位置までの距離の算出

この距離が大きければ大きいほど、項目の座標が平均値座標から遠くグラフエリアの周辺部分に位置すること、つまり重要度偏差値又は満足度偏差値の値が大きいか小さいかを示す。

#### ② 平均値座標から各項目の座標までの直線の角度 $\theta$ の算出

#### ③ $\theta$ を使って改善度基本軸と平均値座標からの角度 $\theta'$ の算出

$\theta'$  の角度が小さいほど、項目の座標が改善度基本軸に近いことを表し、重点度偏差値が高く、かつ、満足度偏差値が低いこと、すなわち、改善の優先度が高い項目であることを示す。

#### ④ 角度の修正指数の算出

③で計算した角度から、「角度の修正指数」を計算する。

この修正指数は、改善度を計算した時に、改善度の値から改善の必要性や優先度が判断しやすくするために、 $\theta'$  の角度が小さいほど改善度の値が大きくなり、また、 $\theta'$  が 90 度以上の場合、すなわち、改善度基本軸とは反対方向にある場合は改善度の値がマイナスになるように指数化したもの。

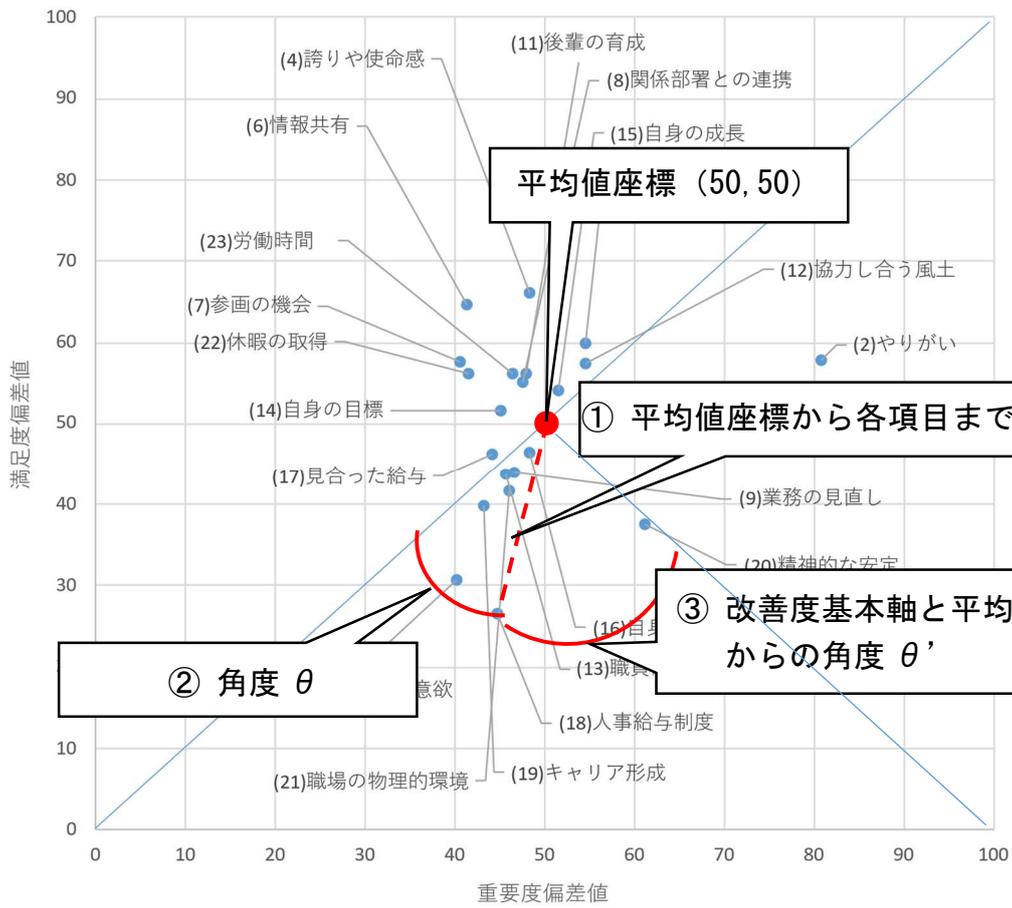
#### ⑤ 改善度の算出

改善度は、①で計算した距離と、④で計算した角度の修正指数の積から求め、平均値座標からの距離が大きく、改善度基本軸との角度が小さいほど大きな値となる。

---

部局ごとの「重要度偏差値と満足度偏差値」の関係から「改善度」を求める場合は、職員全体の平均値と標準偏差を用いることとし、部局ごとの改善度を単純比較できるようにする。

### 重要度と満足度の偏差値（全体）



STEP 1) から STEP 6) までを経て算出した改善度をグラフ化すると図 4-6 のようになる。  
 全体的な傾向としては、特に「(20)精神的な安定」や「(10)就業意欲」、「(2)やりがい」などの満足度を上げれば、総合的な満足度が上がりやすいという結果となった。

改善度がマイナスとなっている項目については、改善の優先度としては低くなるが、優先度が低だけで対策が不要ということではない。例えば、情報共有に不満がなくても、事実として情報が共有できていない状況があれば、改善が必要な事項として別の角度から検討する必要がある。

### 改善度（全体）

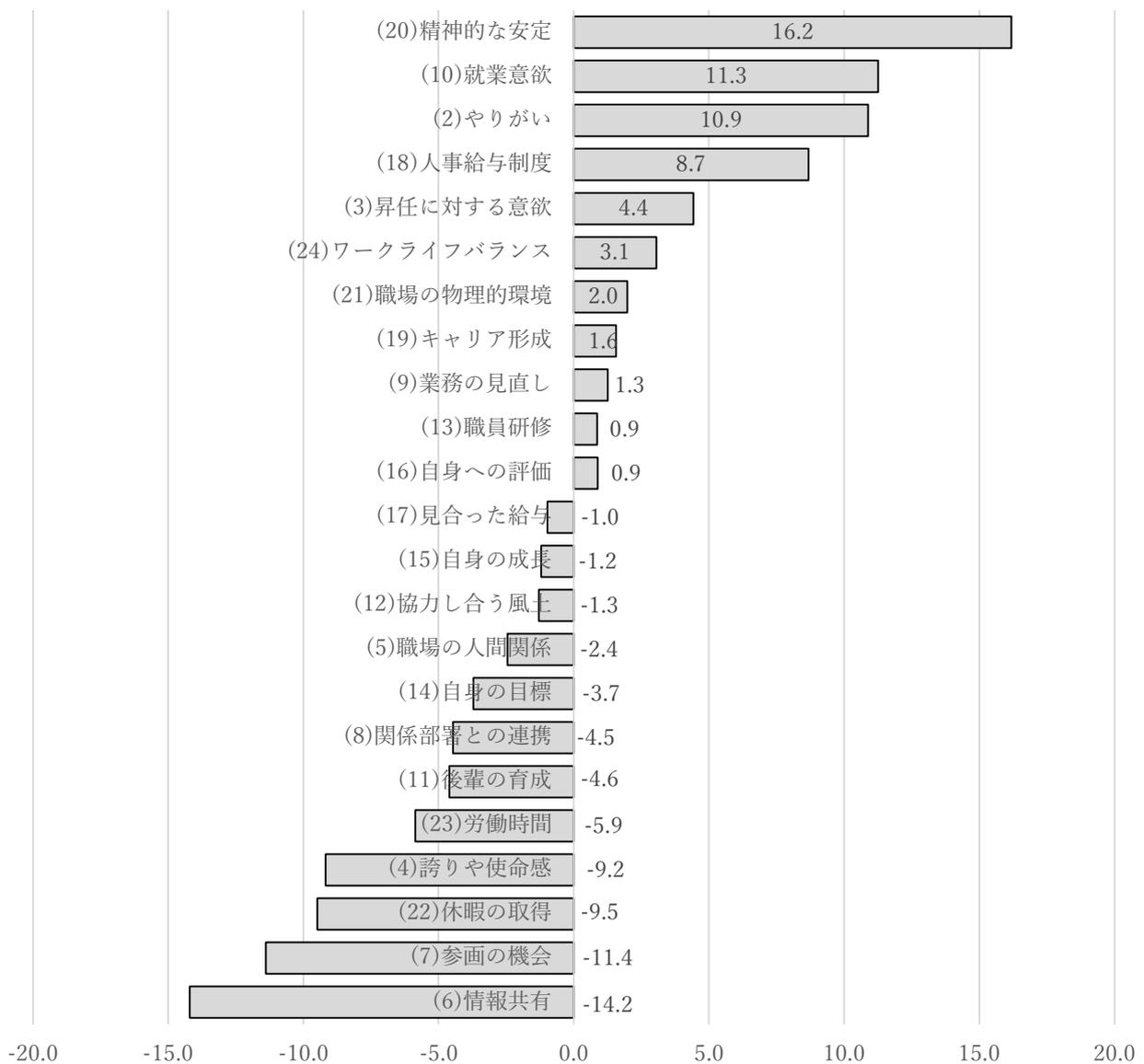


図 4-6 改善度（全体）

【改善度に関する留意点の確認】

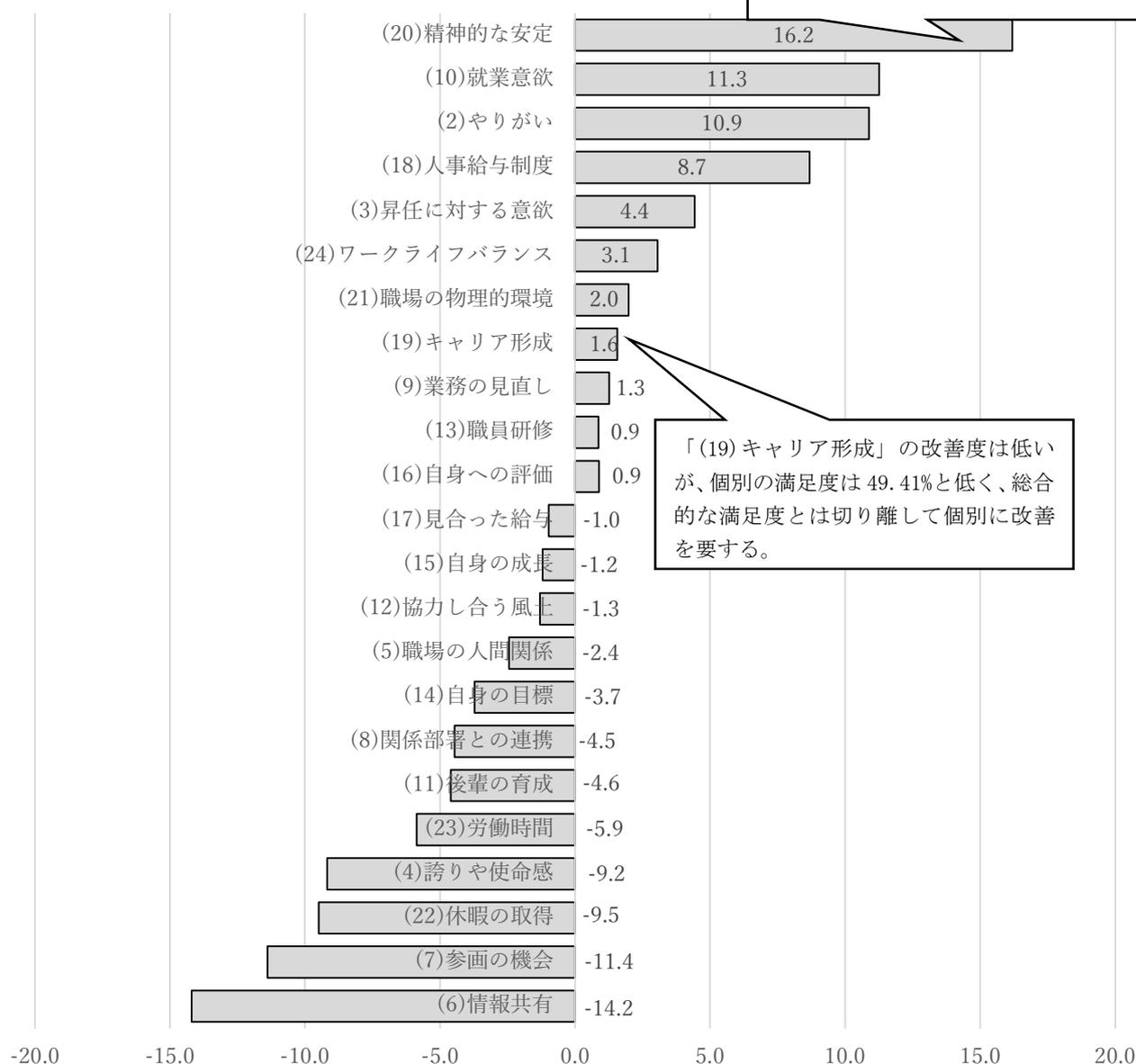
改善度 × 単純な個別満足度の低さの度合い

○ 改善により総合的な満足度を高める効果の期待値の高さ

ただし、満足度を低く回答した個別項目があり、問題だと思っ<sup>て</sup>いても、総合的な満足度自体を高くしている場合も少なくないため、個別の満足度と改善度の双方を見て判断する必要がある。

「(20)精神的な安定」の満足度は45.8%と、低く、「(1)総合的な満足度」にかなり相関がある。これを高めれば「(1)総合的な満足度」を効果的に上げることができる。

改善度（全体）



「(19)キャリア形成」の改善度は低いが、個別の満足度は49.41%と低く、総合的な満足度とは切り離して個別に改善を要する。

図 4-7 改善度（全体）

## (1) 総務企画部

- 全ての項目で全体平均より高い。最も満足度の高い項目は「(7)参画の機会」で95.7%。
- 不満足（意向がない）傾向が強い順に、「(18)人事給与制度」。「(3)昇任に対する意欲」となっている。

### 【総務企画部】

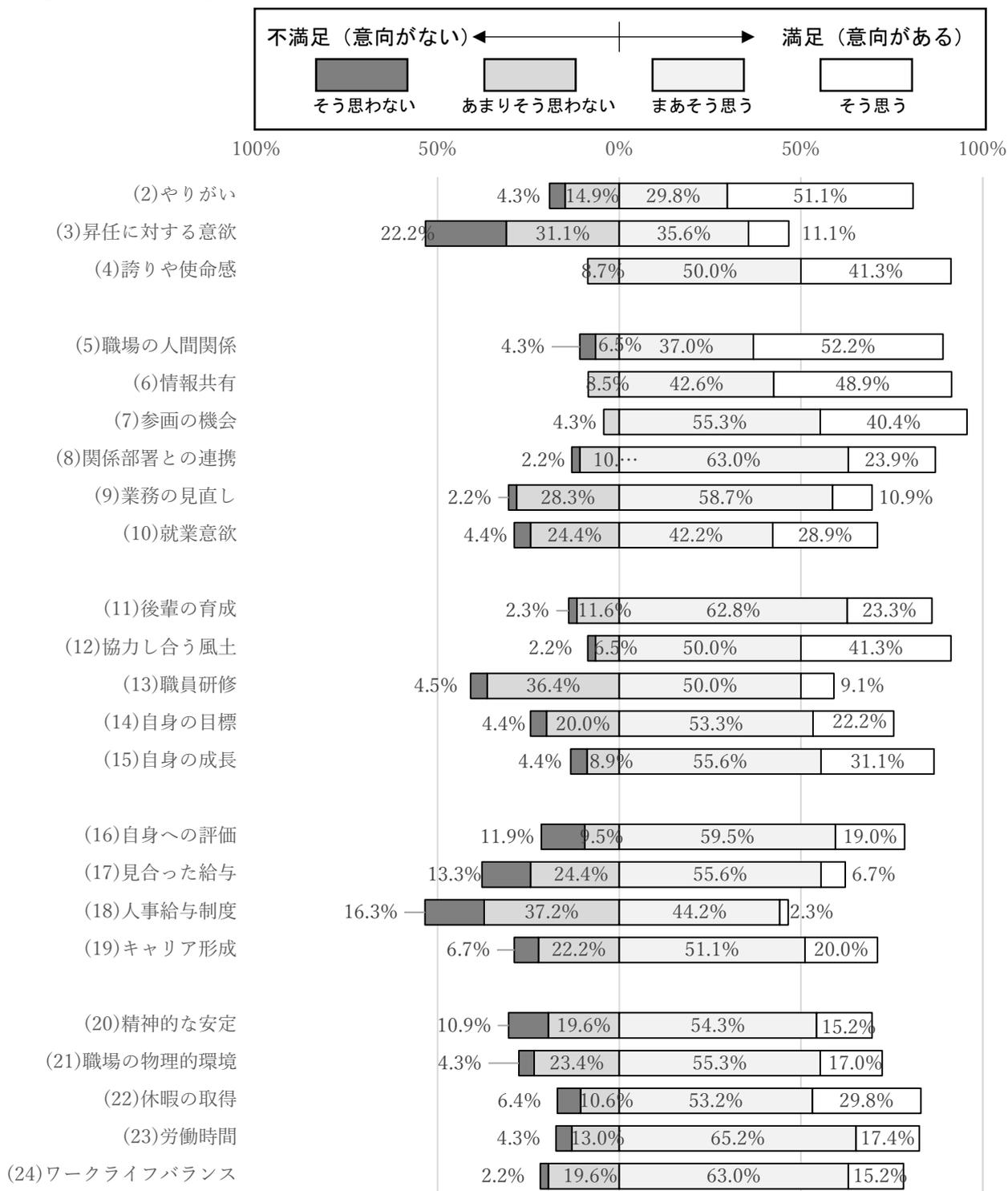


図 4-(1)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **85.1%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

- すでに総合的な満足度が85.1%と高いが、個別満足度が低く重要度の高い「(3)昇任に対する意欲」の満足度を高めれば、さらに総合的な満足度の上昇が期待できる。

改善度 (総務企画部)

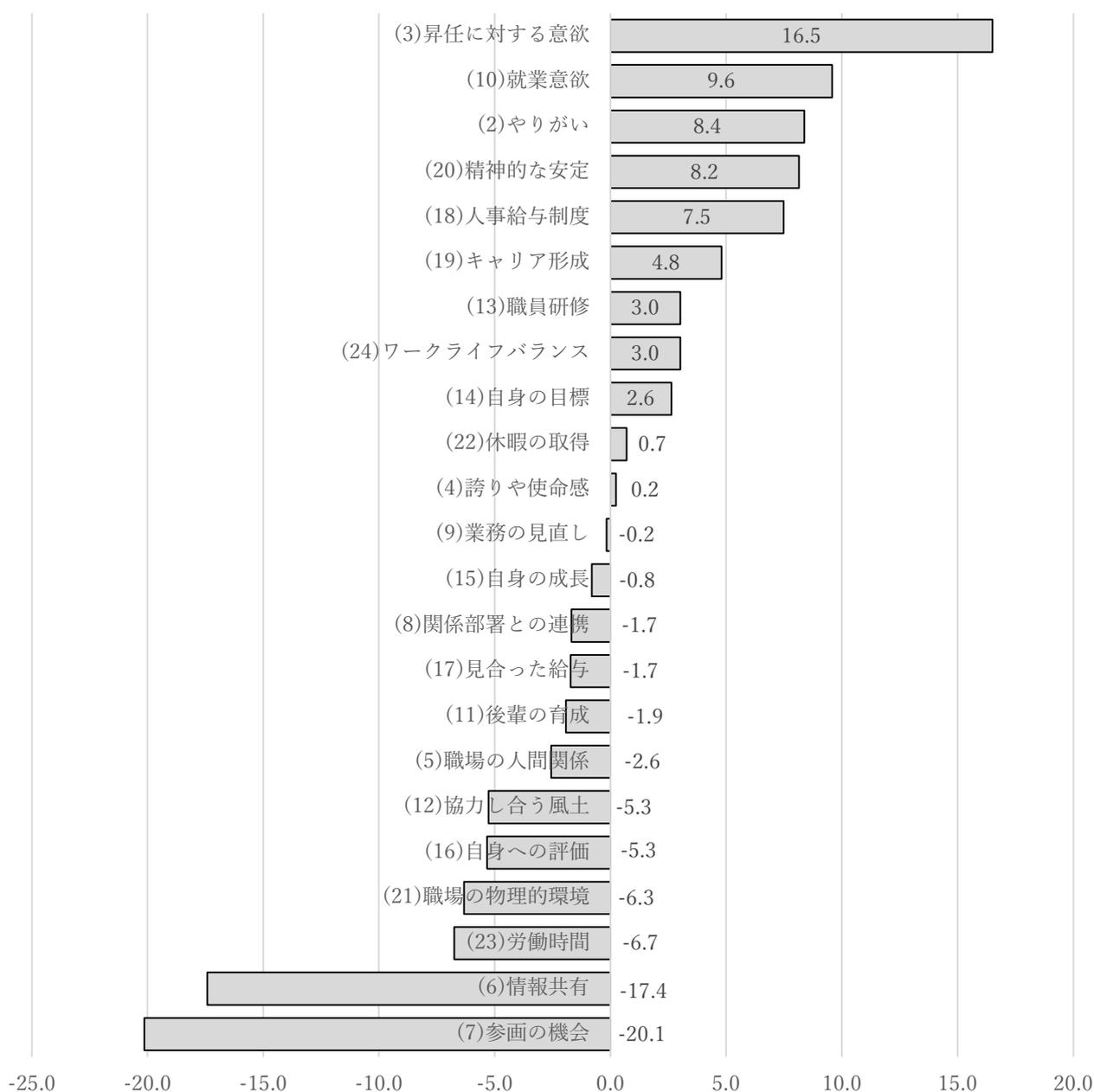


図 4-(1)-2 改善度

## (2) 財務部

○ 不満足（意向がない）傾向が強い項目として6項目あり、特に「(18)人事給与制度」の満足度は19.4%と極めて低い。また、他の部局に比べ「(21)職場の物理的環境」が40.6%と低い。

### 【財務部】

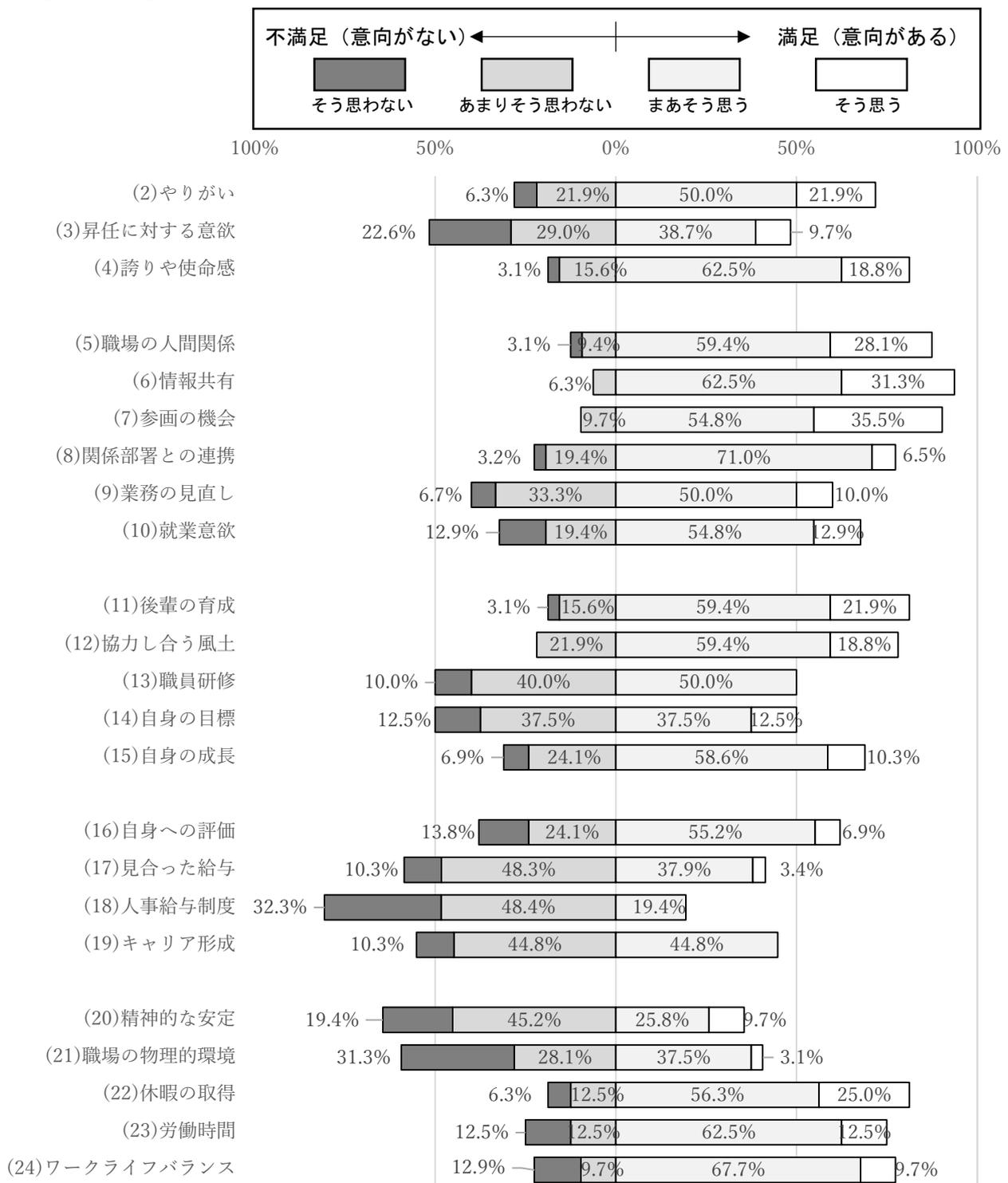


図 4-(2)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **71.9%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

- 前年度より総合的な満足度が7ポイント上昇している。個別満足度が低く、重要度の高い「(20)精神的な安定」「(17)見合った給与」の満足度を高めることで総合的な満足度向上を期待できる。

改善度 (財務部)

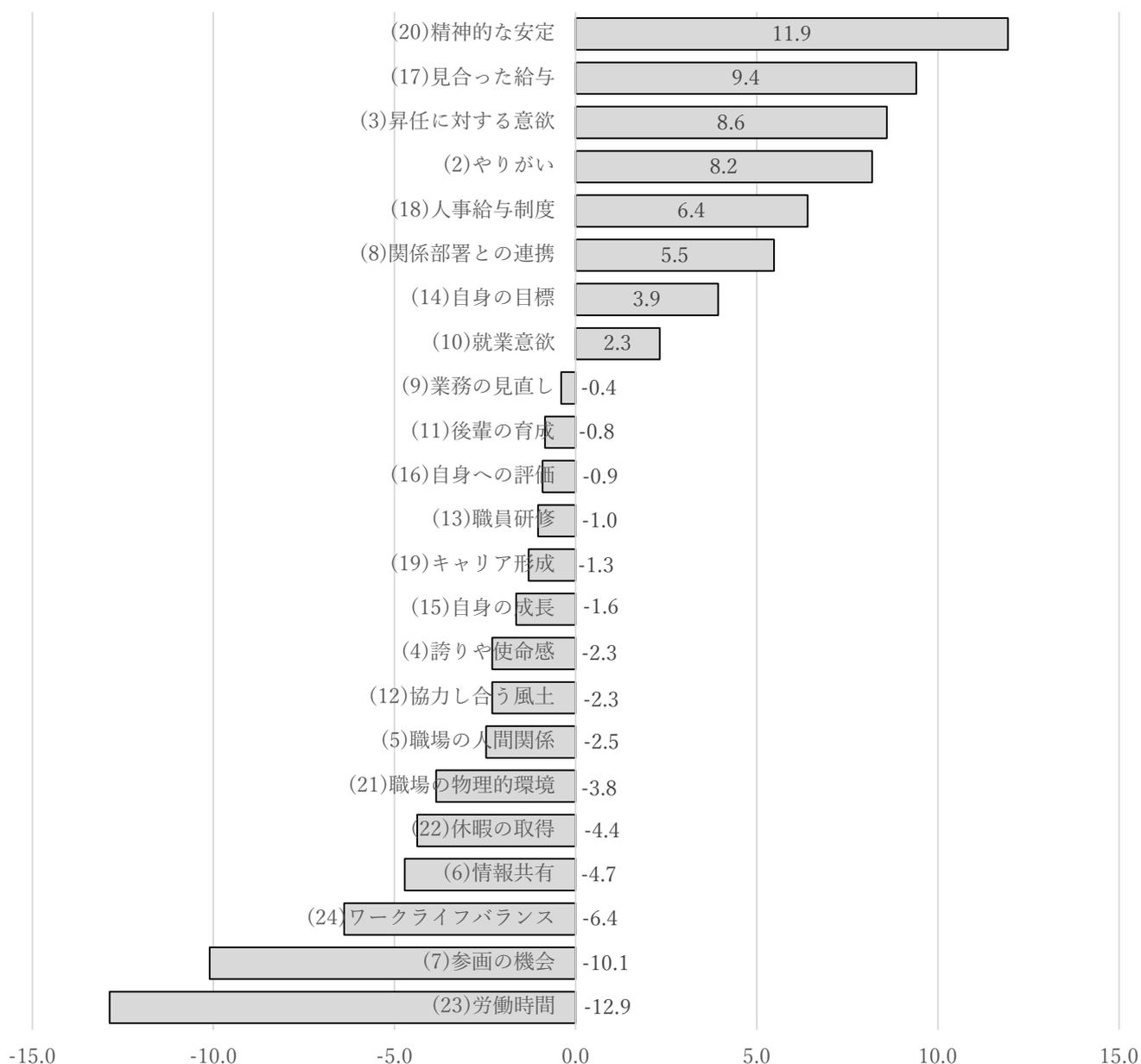


図 4-(2)-2 改善度

### (3) まちづくり推進部（本庁）

- 「(9) 業務の見直し」「(16) 自身への評価」が全部局の中で最も満足度が高い。
- 不満足（意向がない）傾向が強い項目は4項目あり、特に「(21)職場の物理的環境」の満足度は18.8%と極めて低い。

#### 【まちづくり推進部（本庁）】

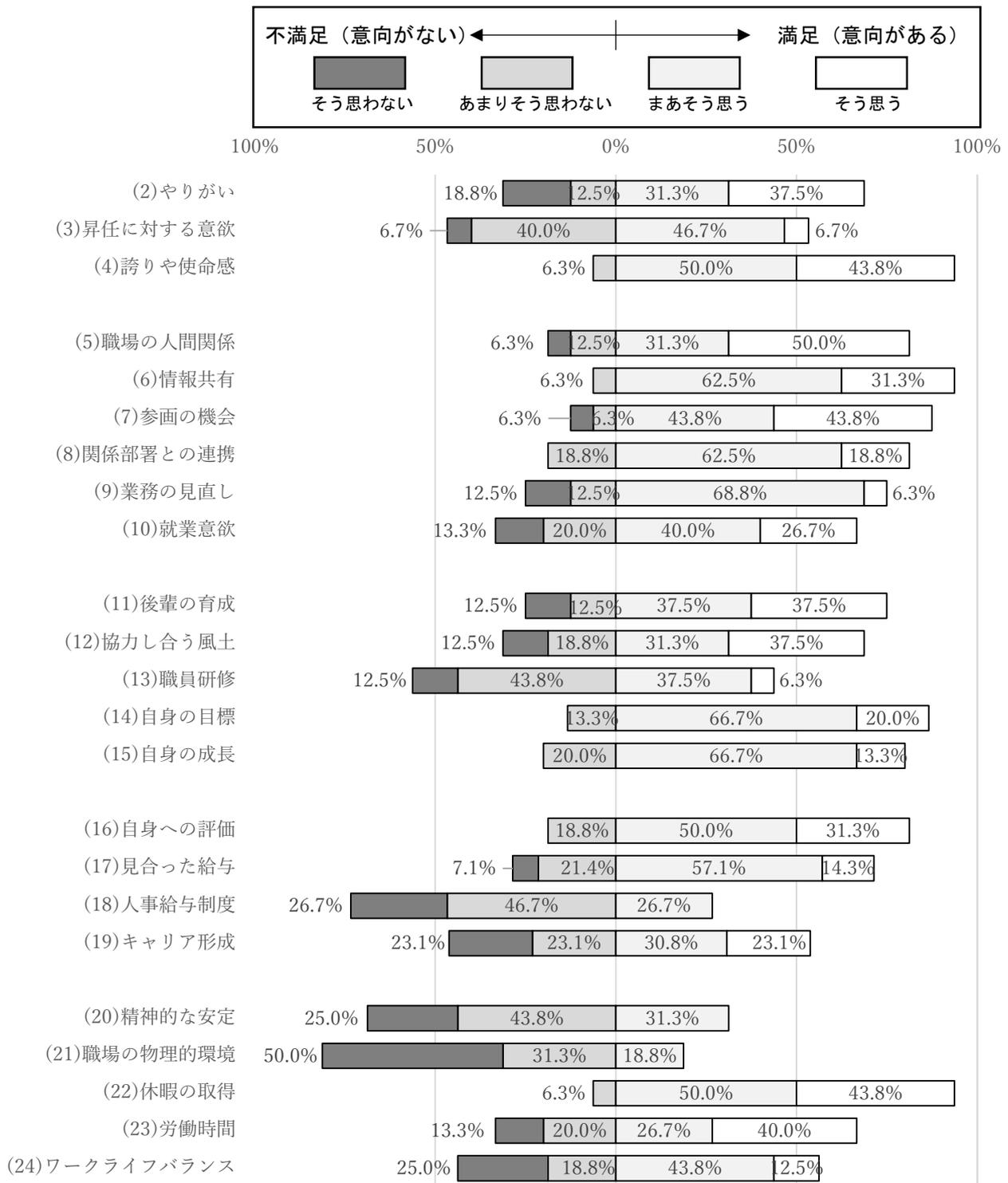


図 4-(3)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **75.0%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

- 前年度より総合的な満足度が 17.3 ポイント減少している。「(20)精神的な安定」の改善度が突出しており、総合的な満足度向上のために対策が必要。

改善度 (まちづくり推進部 (本庁))

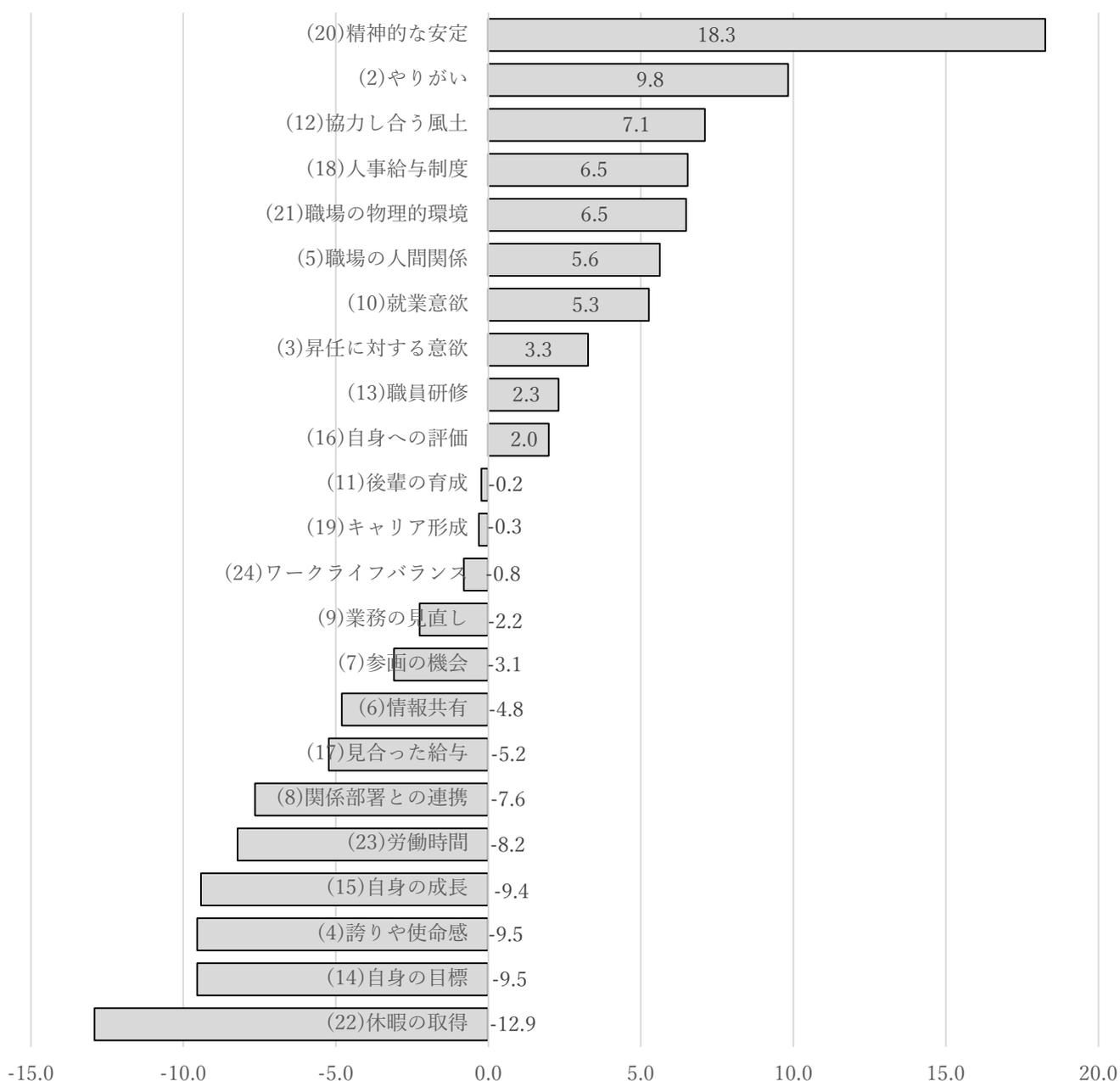


図 4-(3)-2 改善度

## (4) まちづくり推進部（地域局）

○ 不満足（意向がない）傾向が強い項目は、「(3)昇任に対する意欲」「(18)人事給与制度」「(19)キャリア形成」「(9)業務の見直し」の4項目。他部局に比べ「(7)参画の機会」の満足度が66.1%と低い。

### 【まちづくり推進部（地域局）】

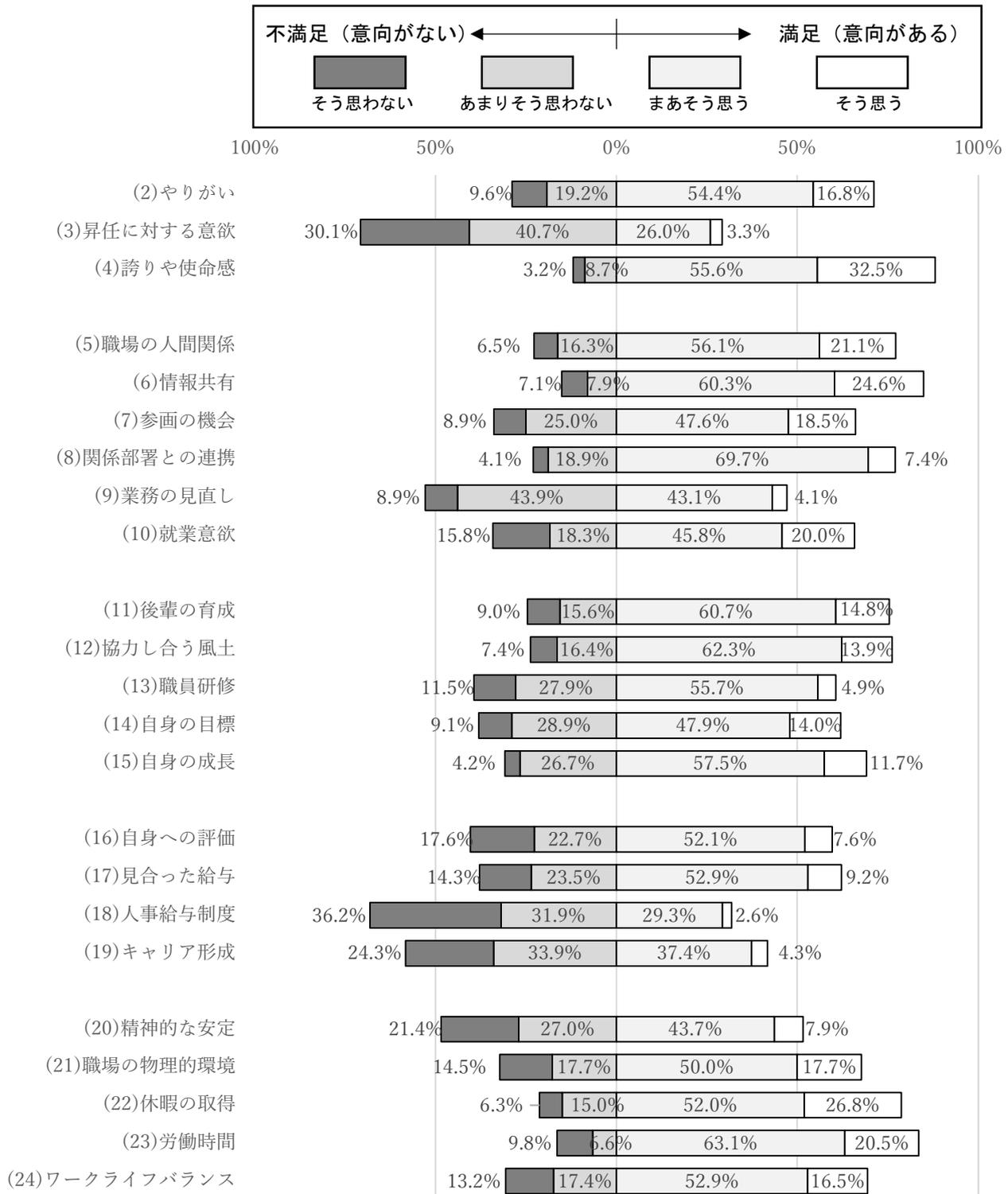


図 4-(4)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **71.7%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

○前年度より総合的な満足度が6.8ポイント減少している。重要度の高い「(2)やりがい」「(20)精神的な安定」の満足度を高めることで総合的な満足度向上を期待できる。

改善度 (まちづくり推進部 (地域局))

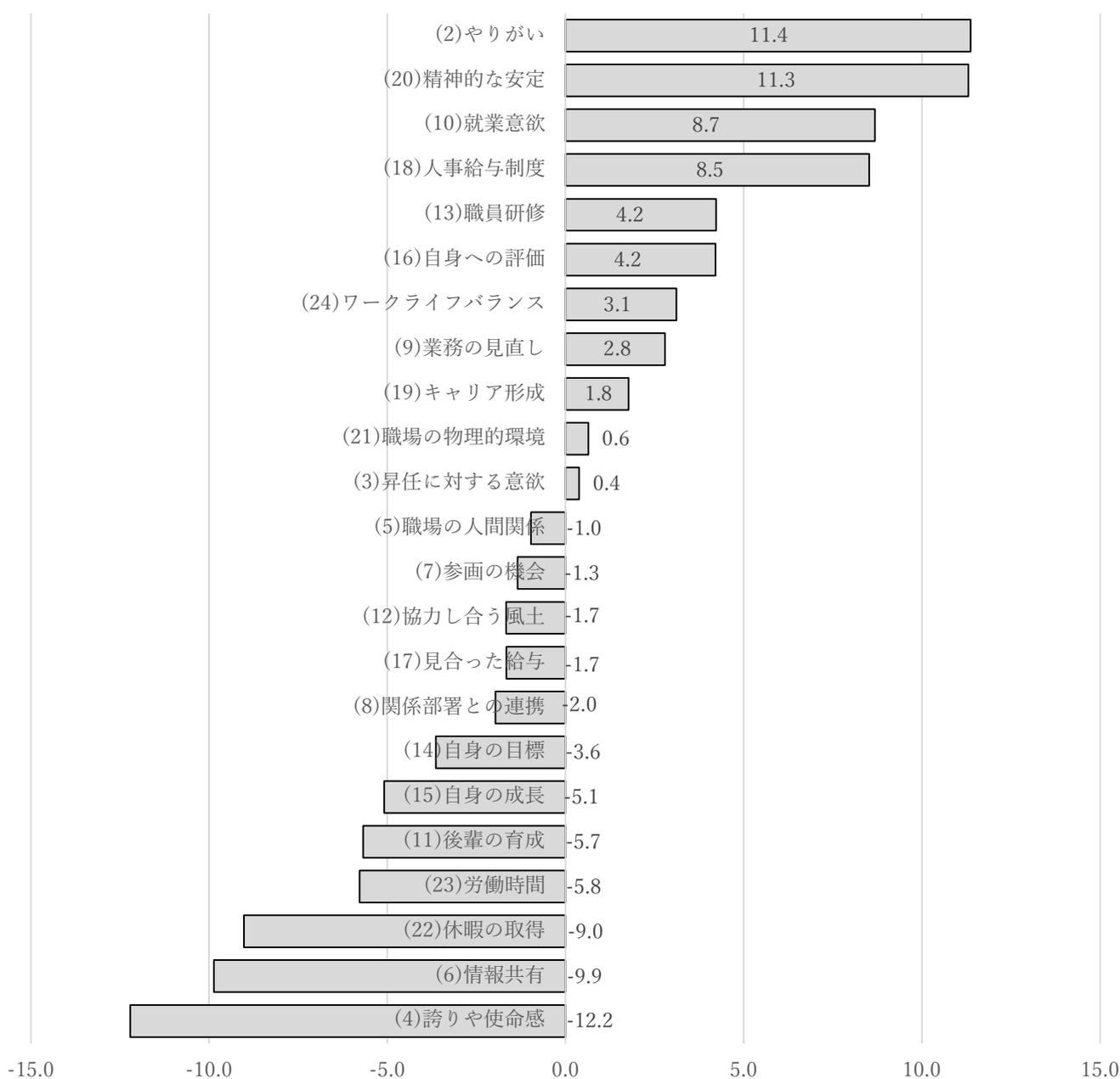


図 4-(4)-2 改善度

## (5) 市民福祉部

○ 不満足（意向がない）傾向が強い項目は5項目あり、特に「(3) 昇任に対する意欲」「(8) 関係部署との連携」「(12) 協力し合う風土」「(20) 精神的な安定」の項目は全部局の中で最も低い。

### 【市民福祉部】

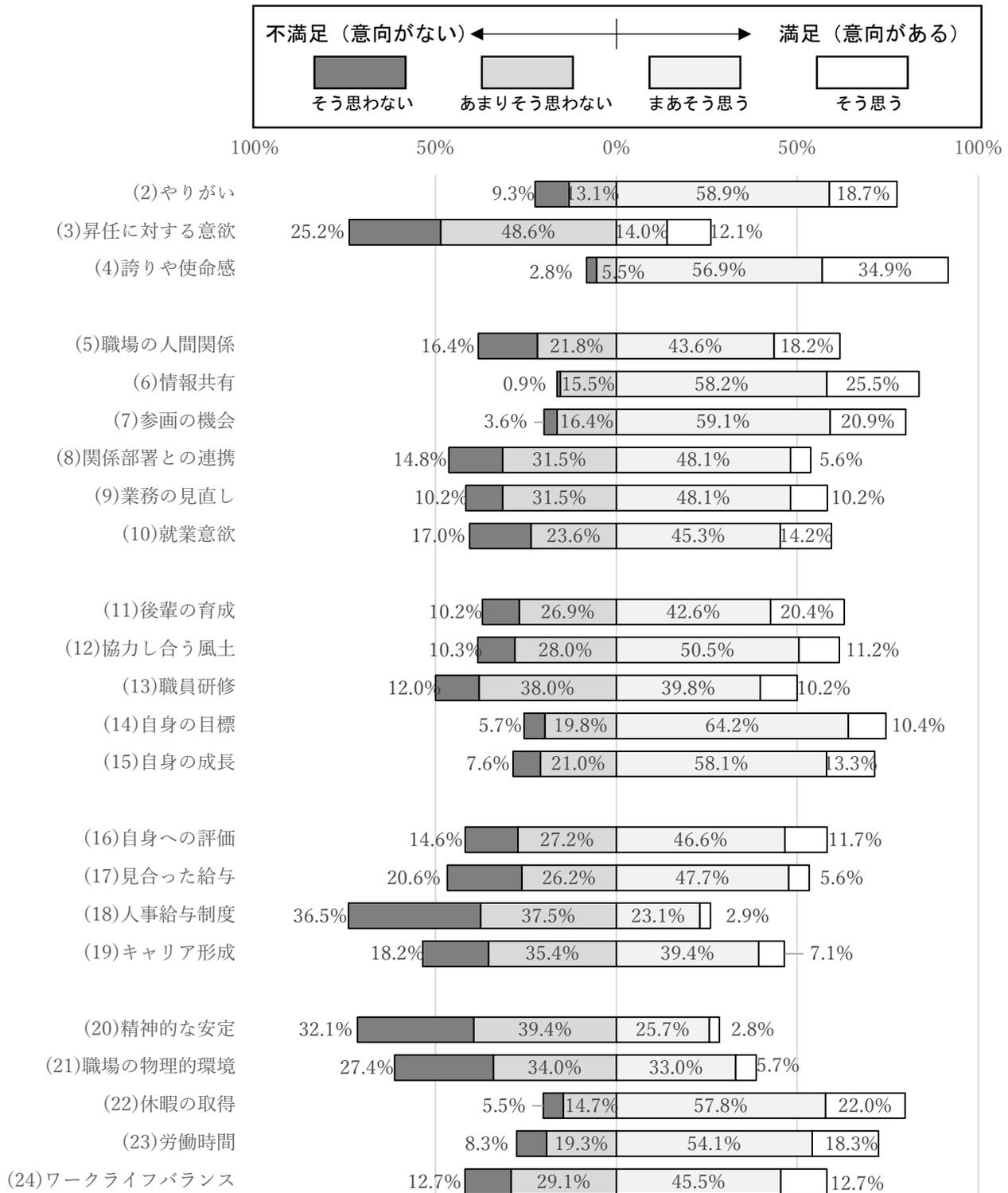


図 4-(5)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **70.9%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

- 前年度より総合的な満足度は微減している。個別満足度が低く、重要度の高い「(20)精神的な安定」「(18)人事給与制度」「(3)昇任に対する意欲」の満足度を高めることで総合的な満足度向上を期待できる。

改善度 (市民福祉部)

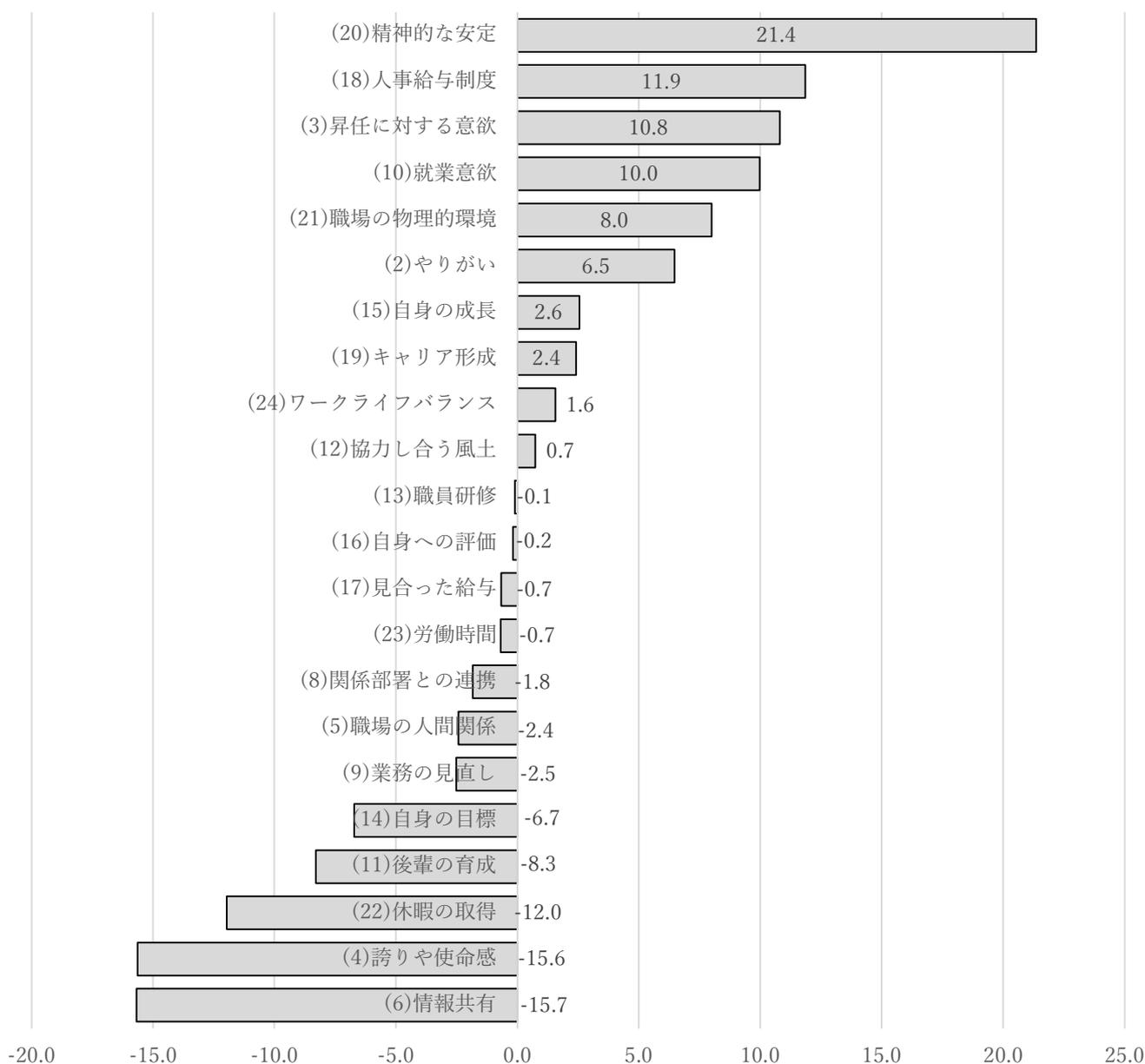


図 4-(5)-2 改善度

## (6) 農林部

- 「(14) 自身の目標」が他部局に比べて最も満足度が高く、87.5%。
- 不満足（意向がない）傾向が強い項目は4項目あり、特に「(9) 業務の見直し」の満足度が31.2%と全部局の中で最も低い。

### 【農林部】

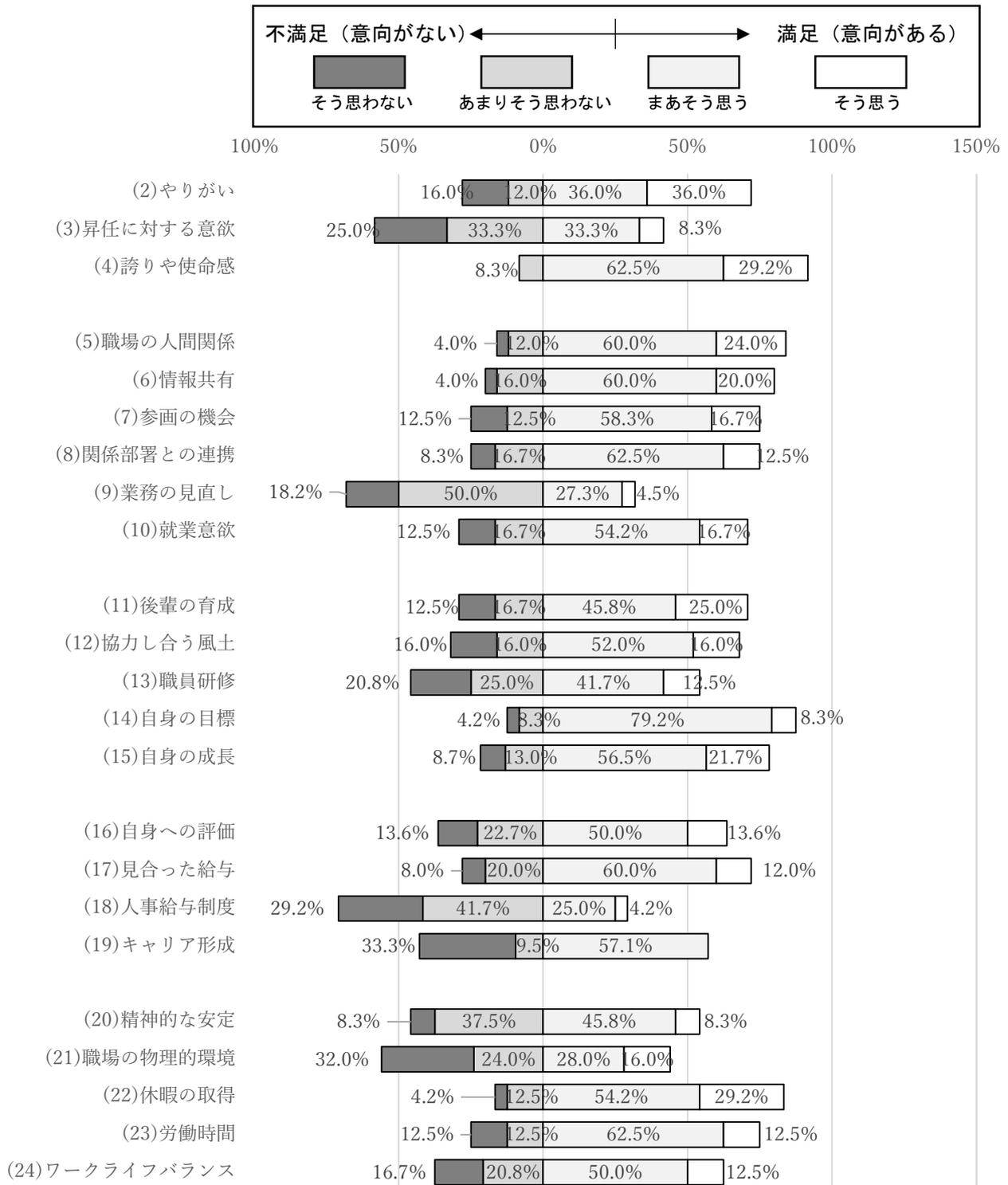


図 4-(6)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **72.0%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

- 前年度より総合的な満足度が 20.1 ポイント増加している。改善された項目もあるが、さらに総合的な満足度を向上させるためには、改善度が突出している「(18)人事給与制度」の満足度を高めることが必要。

改善度 (農林部)

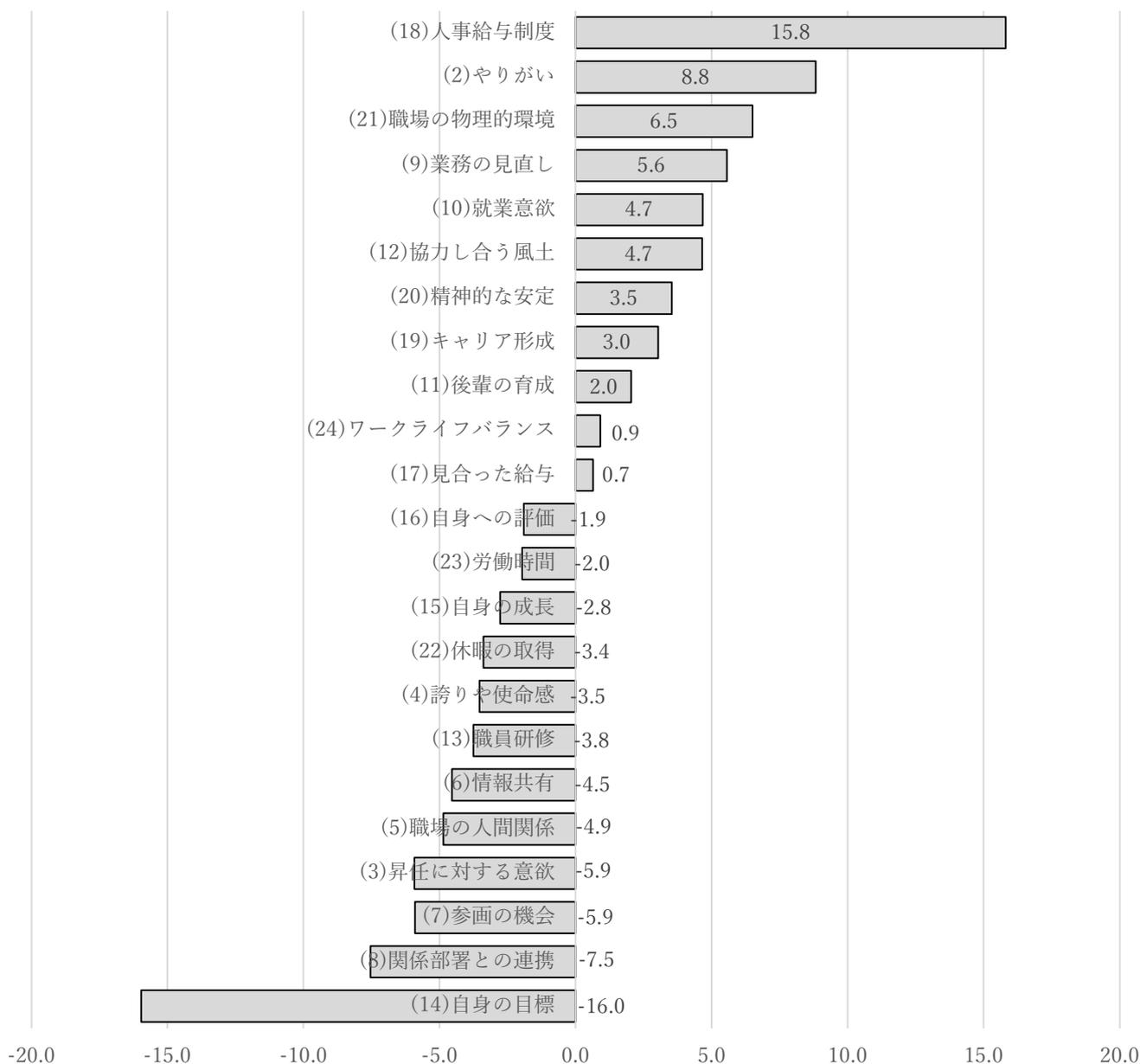


図 4-(6)-2 改善度

## (7) 商工観光部

- 「(2) やりがい」「(3) 昇任に対する意欲」「(5) 職場の人間関係」「(11) 後輩の育成」が他部局に比べて最も満足度が高く、「(5) 職場の人間関係」の満足度は100%。
- 最も満足度が低い項目は、「(18) 人事給与制度」の24.0%。

### 【商工観光部】

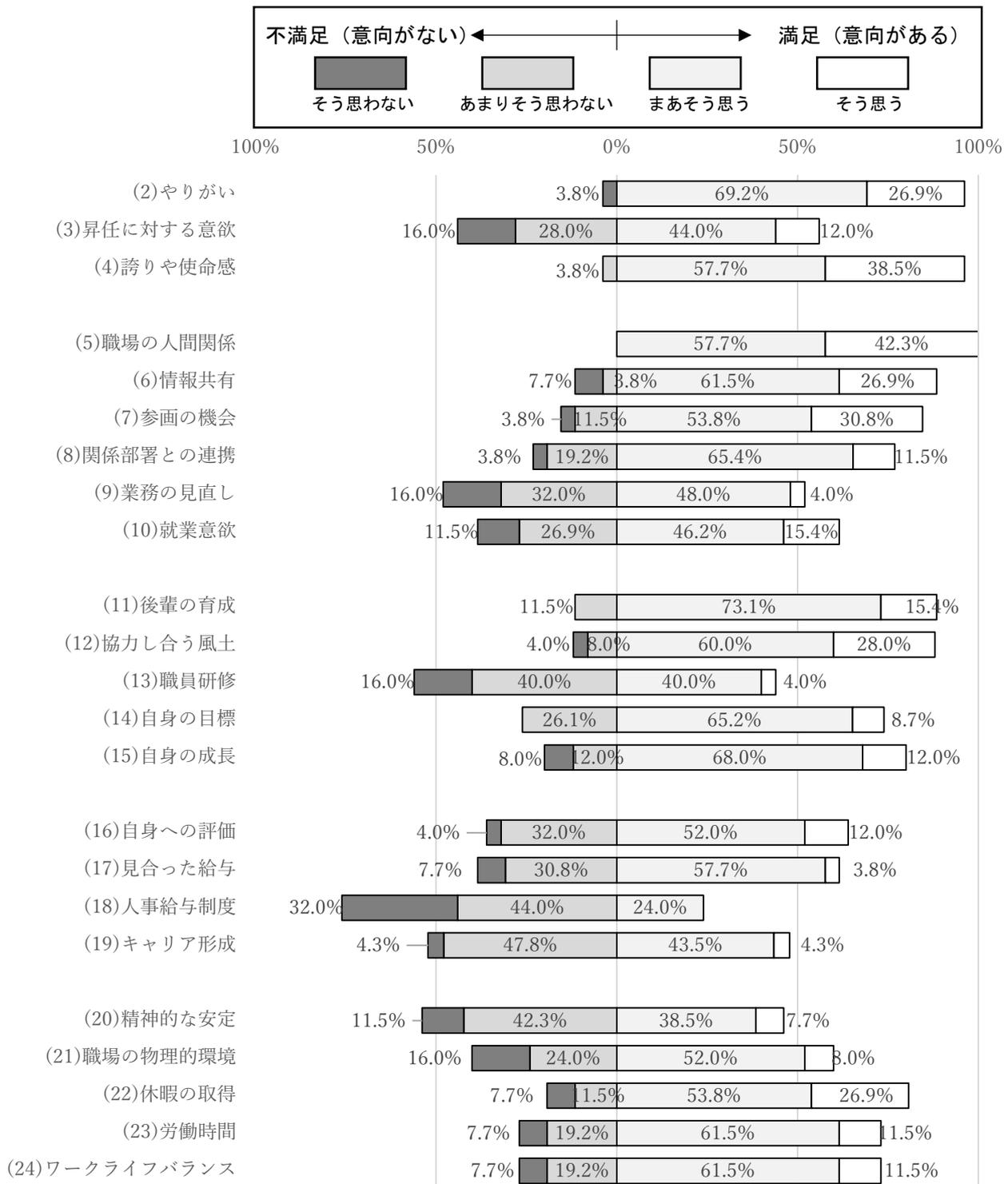


図 4-(7)-1 個別項目の満足度 (意向度)

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **84.6%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

- 総合的な満足度は前年度から微増。部局別で3番目に高い。
- 他部局に比べると「(13)職員研修」の改善度が高いのが特徴。

改善度 (商工観光部)

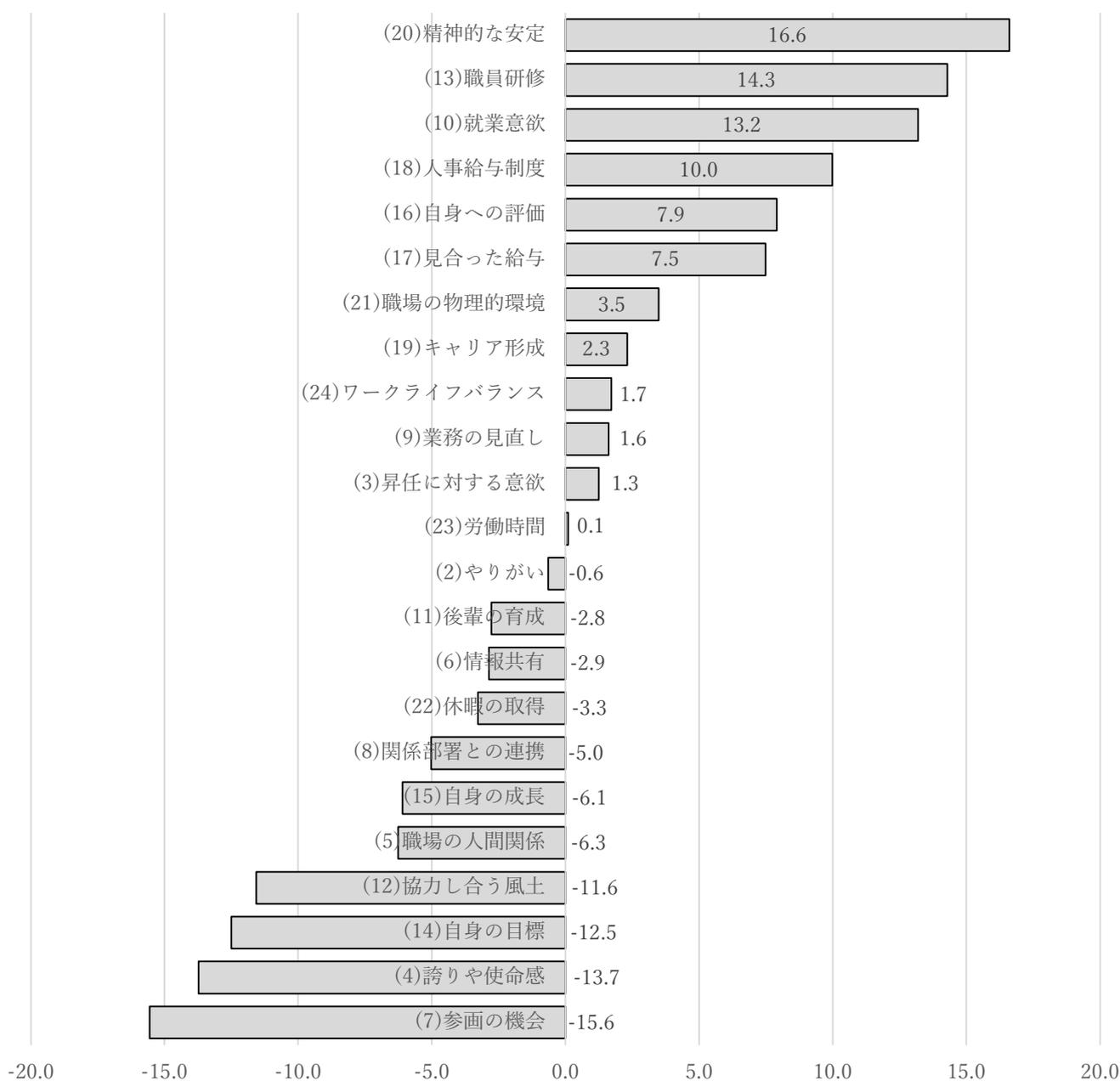


図 4-(7)-2 改善度

## (8) 建設部

○ 不満足（意向がない）傾向が強い項目は5項目あるが、中でも「(21)職場の物理的環境」の満足度が16.7%と全部局の全項目中最も低い。

### 【建設部】

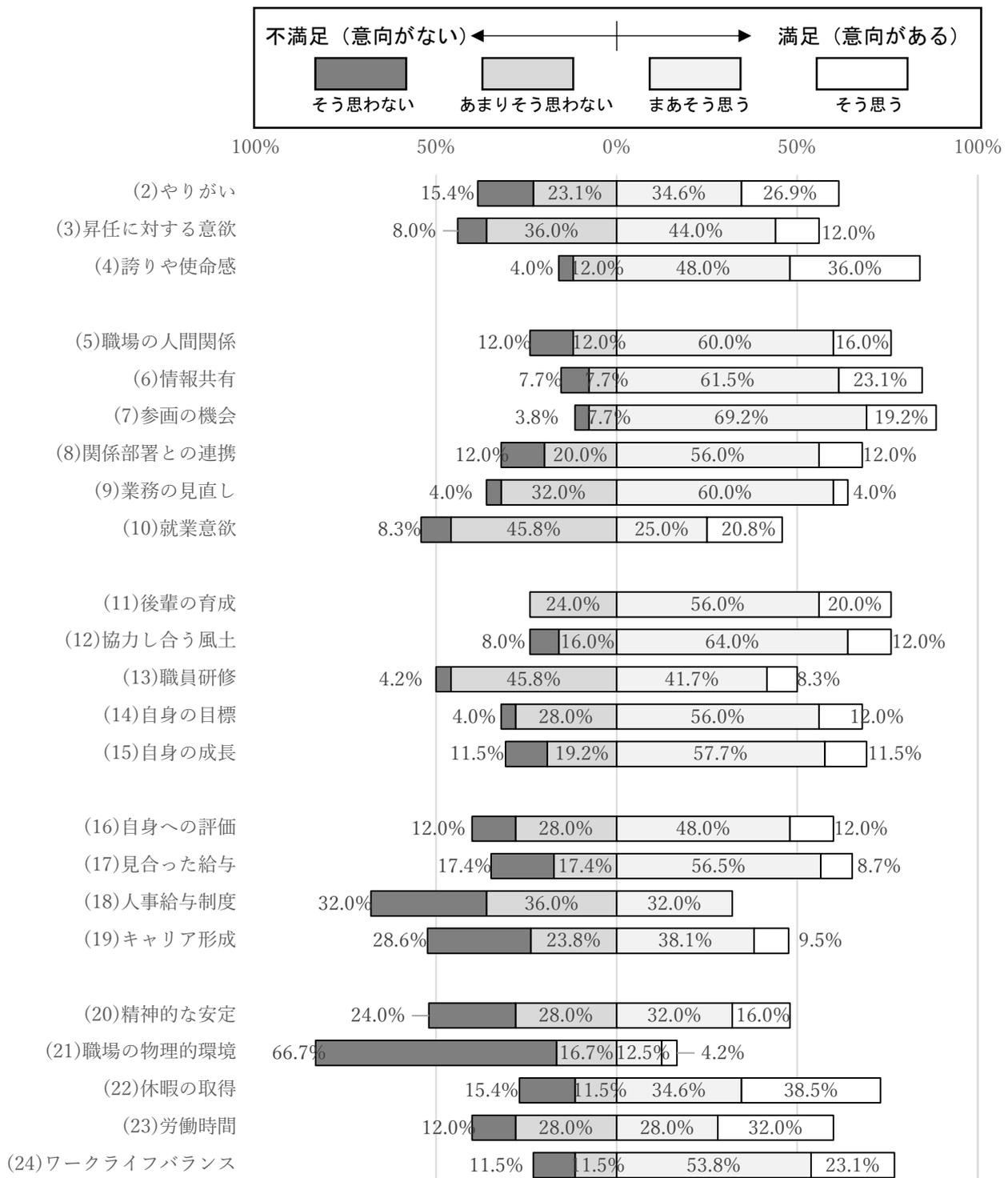


図 4-(8)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **61.5%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

- 前年度より総合的な満足度が 14.7 ポイント減少している。特に「(21)職場の物理的環境」は個別満足度が低く、改善度が高いことから、建設部において重要な項目になっていると考えられる。

改善度 (建設部)

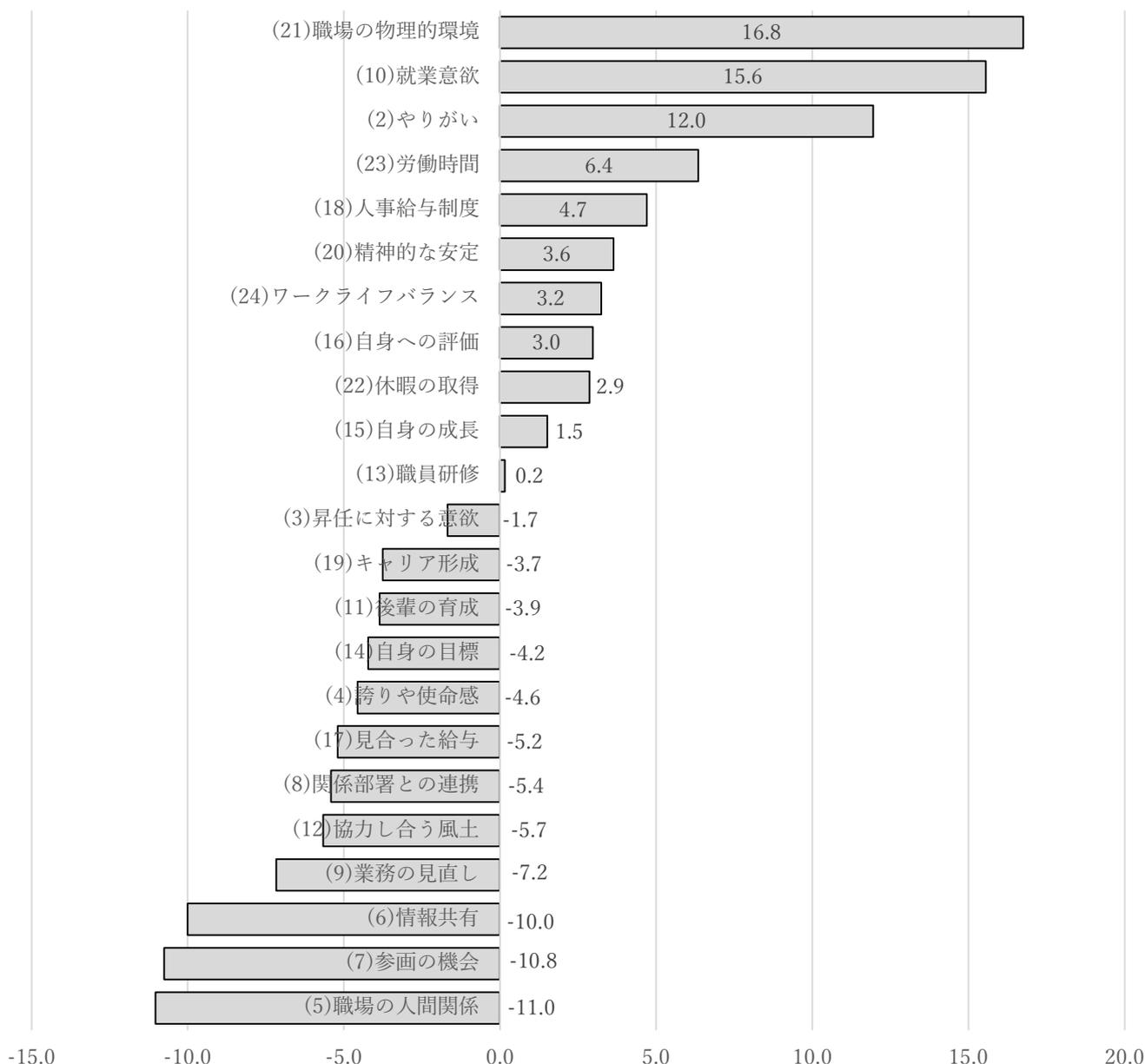


図 4-(8)-2 改善度

## (9) 上下水道部

○ 不満足（意向がない）傾向が強い項目は6項目あるが、特に「(5)職場の人間関係」「(6)情報共有」「(11)後輩の育成」「(13)職員研修」「(17)見合った給与」の項目は全部局の中で最も満足度が低い。

### 【上下水道部】

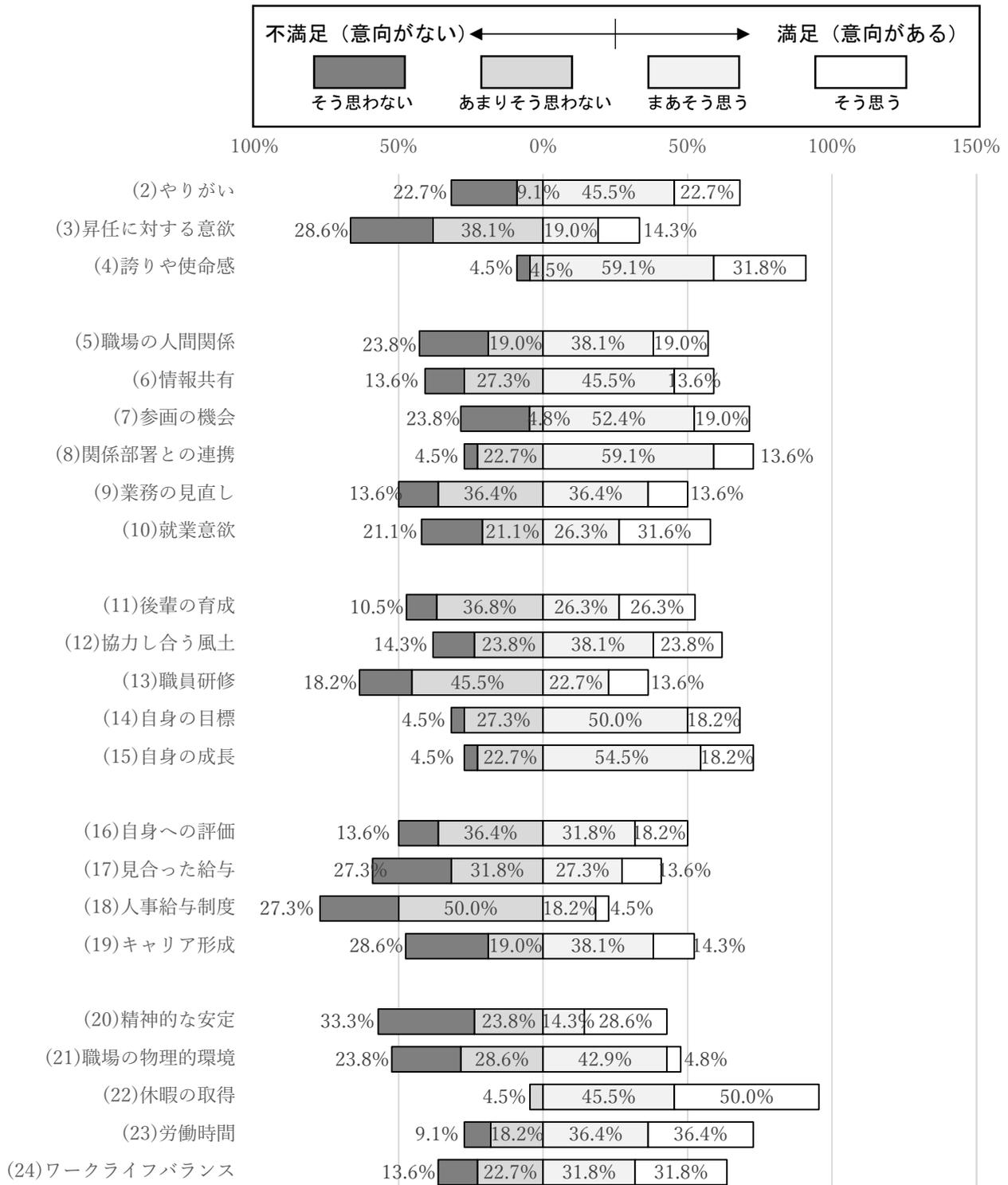


図 4-(9)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **54.5%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

○ 前年度より総合的な満足度が9.7ポイント減少している。「(20)精神的な安定」の改善度が突出しており、総合的な満足度向上のために対策が必要。

改善度 (上下水道部)

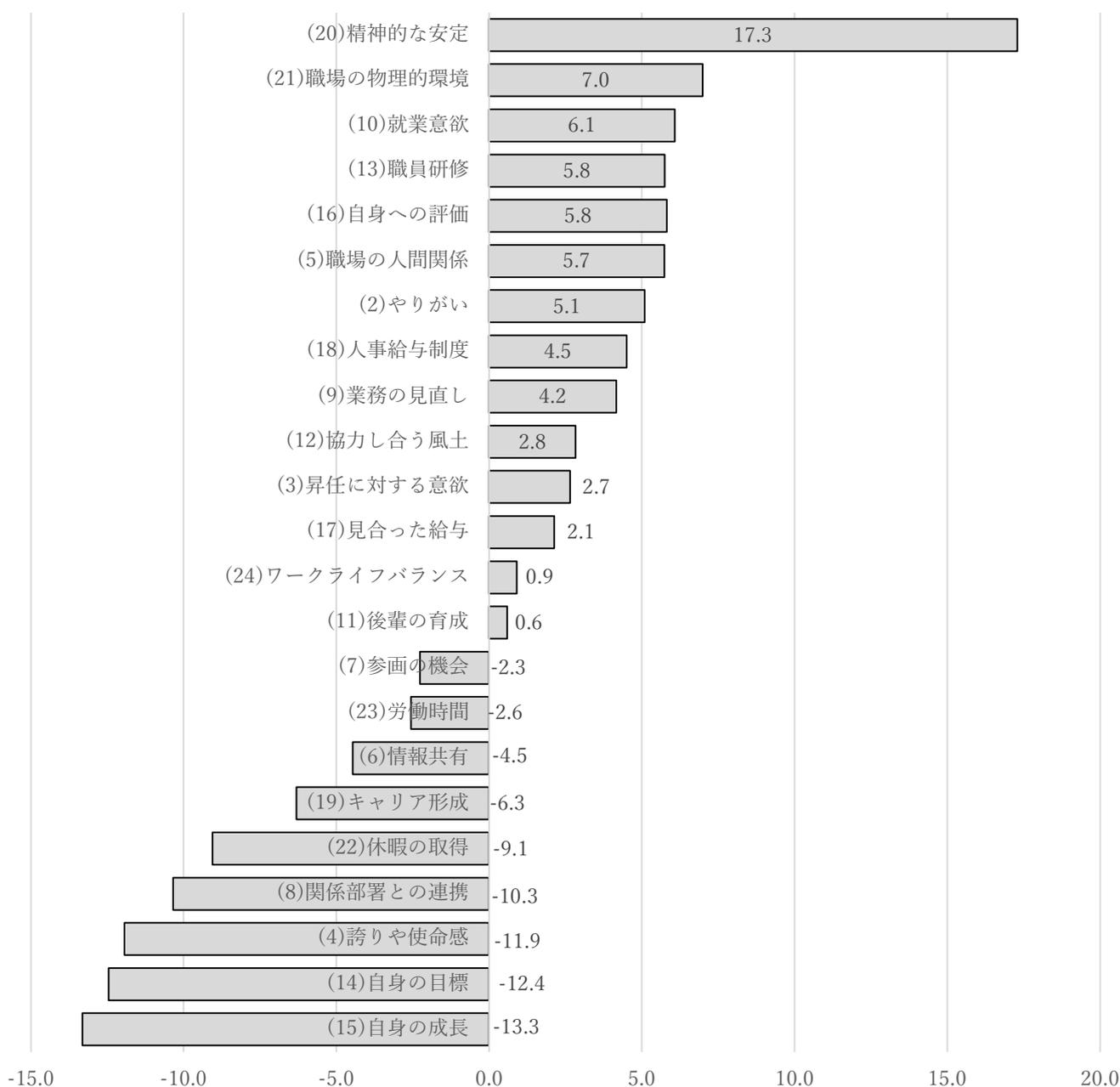


図 4-(9)-2 改善度

## (10) 行政委員会等

- 「(5) 職場の人間関係」と「(6) 情報共有」の満足度は100%
- 不満足（意向がない）傾向が強い項目が9項目と全部局の中で最も多い。特に「(10)就業意欲」「(14) 自身の目標」「(15) 自身の成長」「(16) 自身への評価」「(19) キャリア形成」「(24) ワークライフバランス」の項目が全部局の中で最も満足度が低い。

### 【行政委員会等】

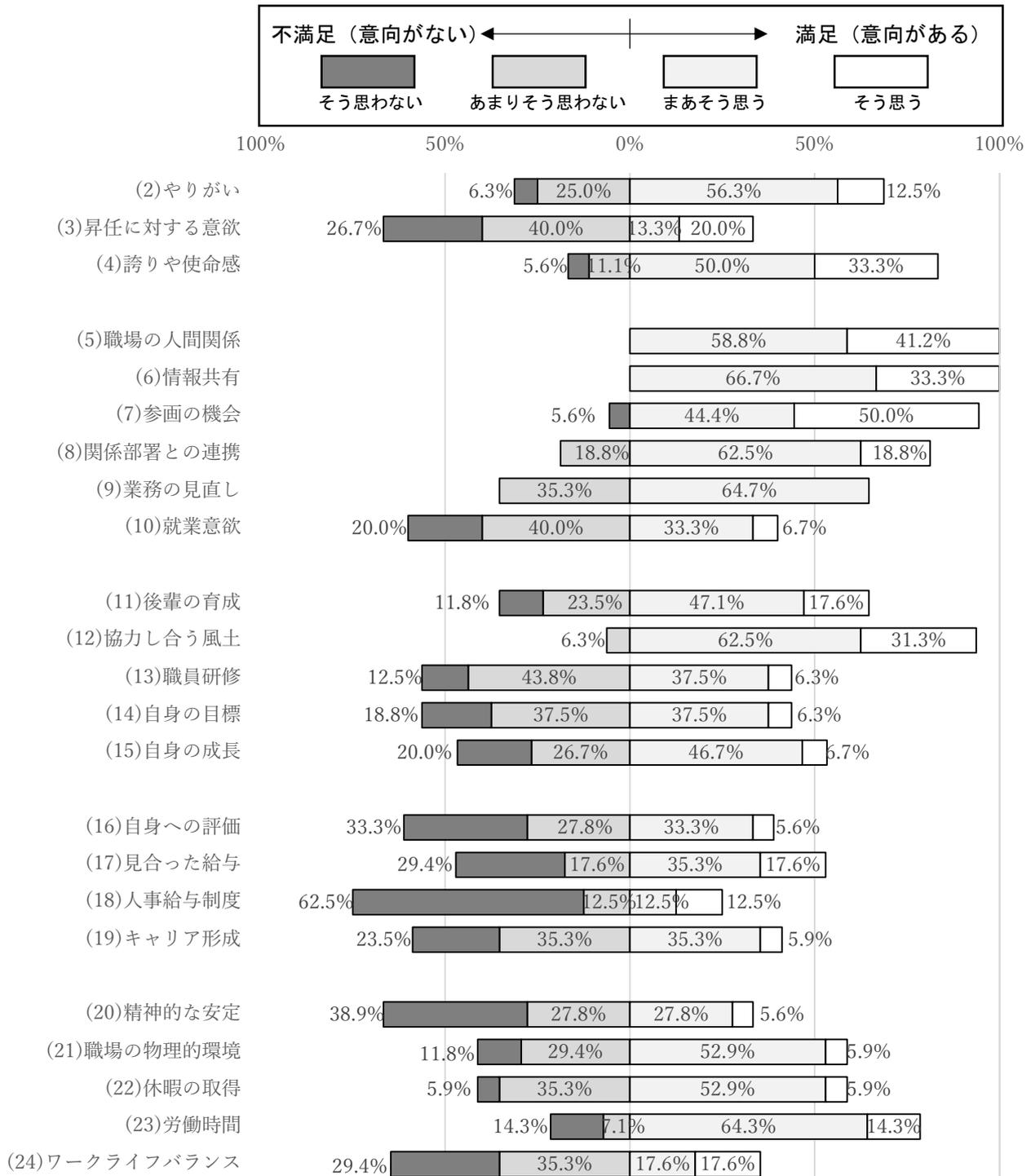


図 4-(10)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **50.0%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

○ 前年度より総合的な満足度が 19.6 ポイント減少し、2年連続で 10 ポイント以上減少となった。他部局に比べ「(24) ワークライフバランス」の改善度が高い。

改善度 (行政委員会等)

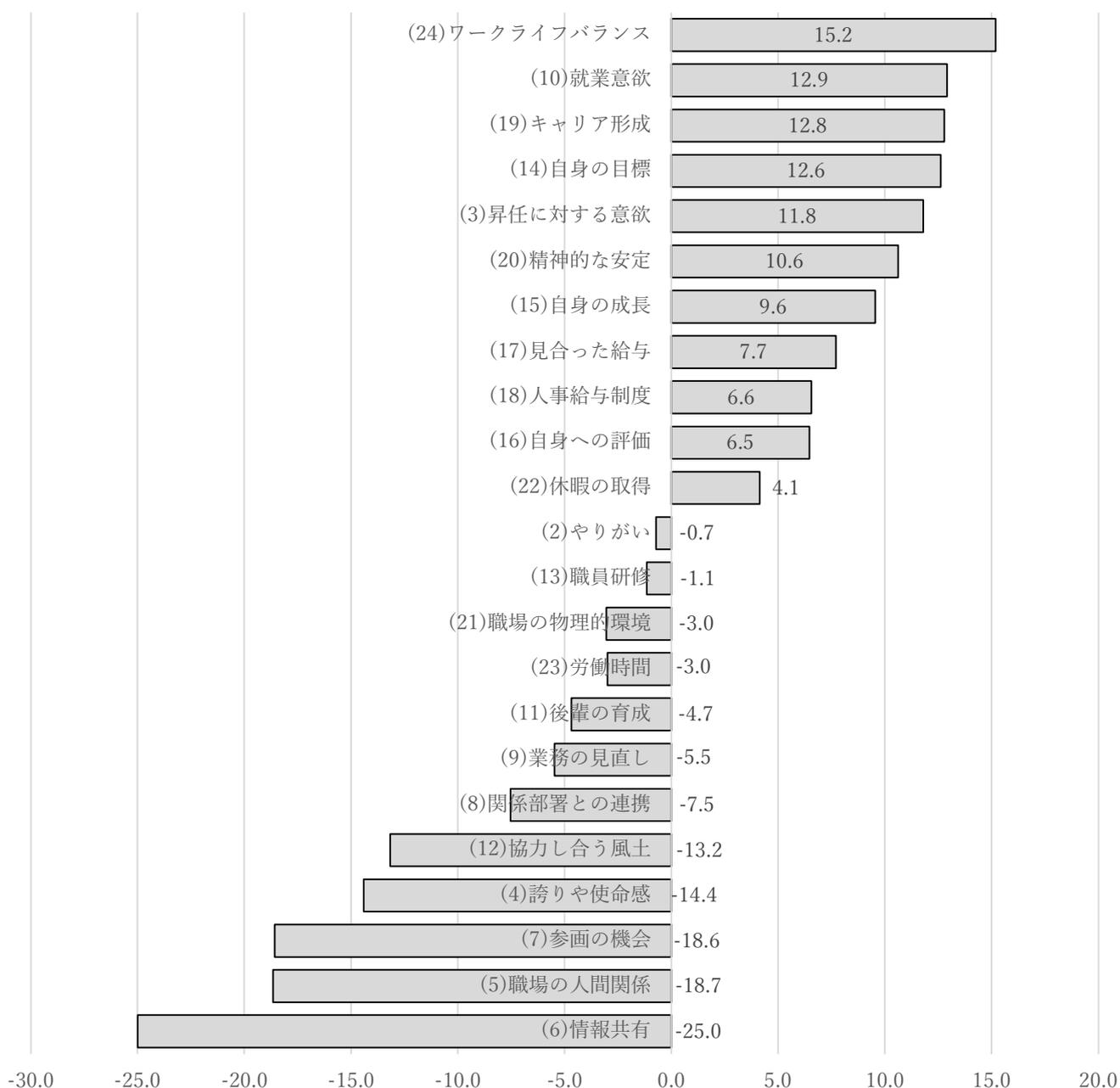


図 4-(10)-2 改善度

## (II) 教育委員会

- 全ての項目で全体平均より高い。6項目が全部局の中で最も満足度が高い。
- 不満足（意向がない）傾向が強い順に、「(18) 人事給与制度」「(3)昇任に対する意欲」となっている。

### 【教育委員会】

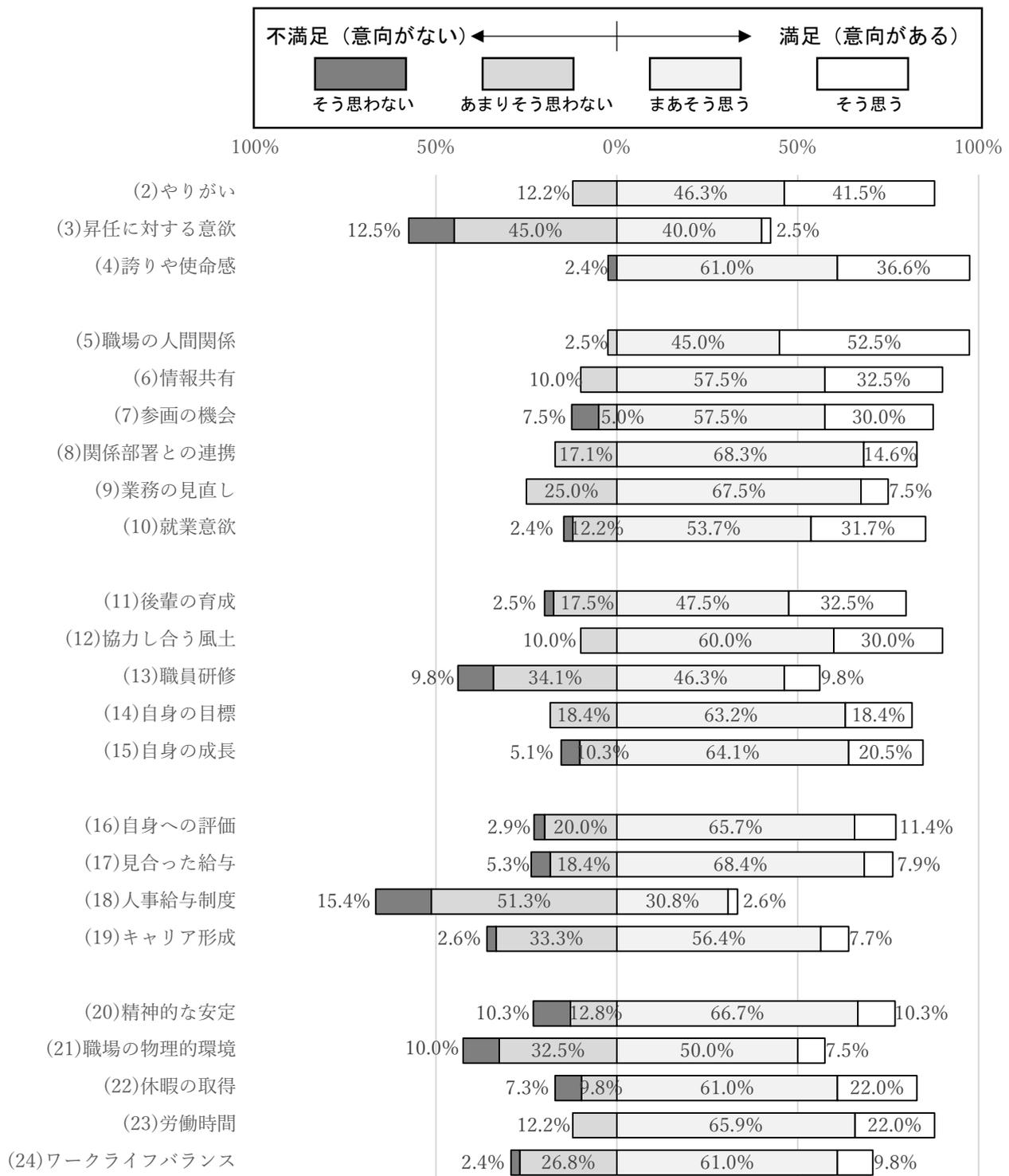


図 4-(11)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **90.2%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

- 総合的な満足度は、全部局トップ。
- 個別満足度が低く、重要度の高い「(18)人事給与制度」の満足度を高めれば、さらに総合的な満足度の上昇が期待できる。

改善度 (教育委員会)

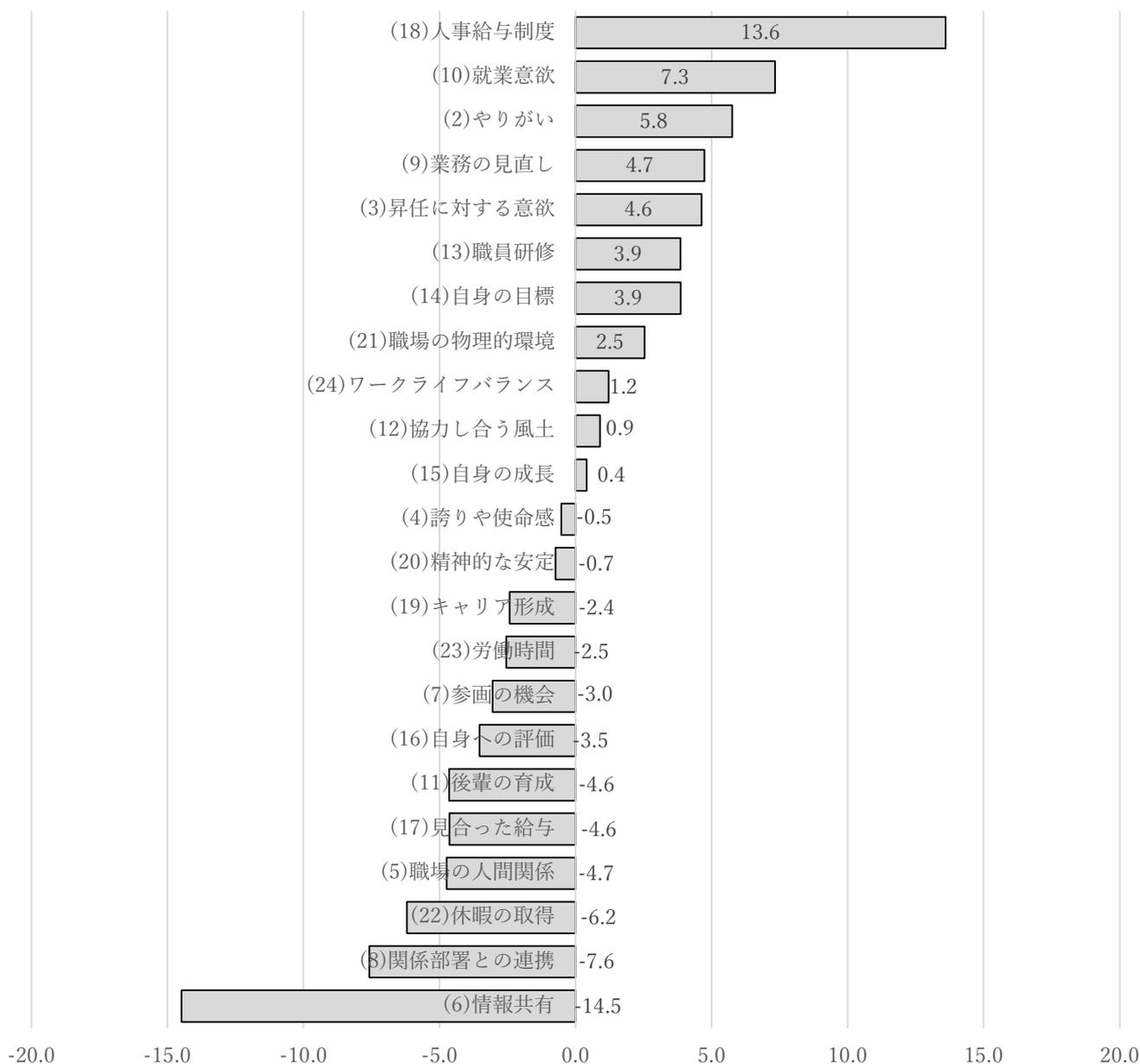


図 4-(11)-2 改善度

## (12) 消防

○ 不満足（意向がない）傾向が強い項目は6項目あるが、特に「(22)休暇の取得」の満足度が全部局の中で最も低く、自由記載でも意見が見られた。

### 【消防】

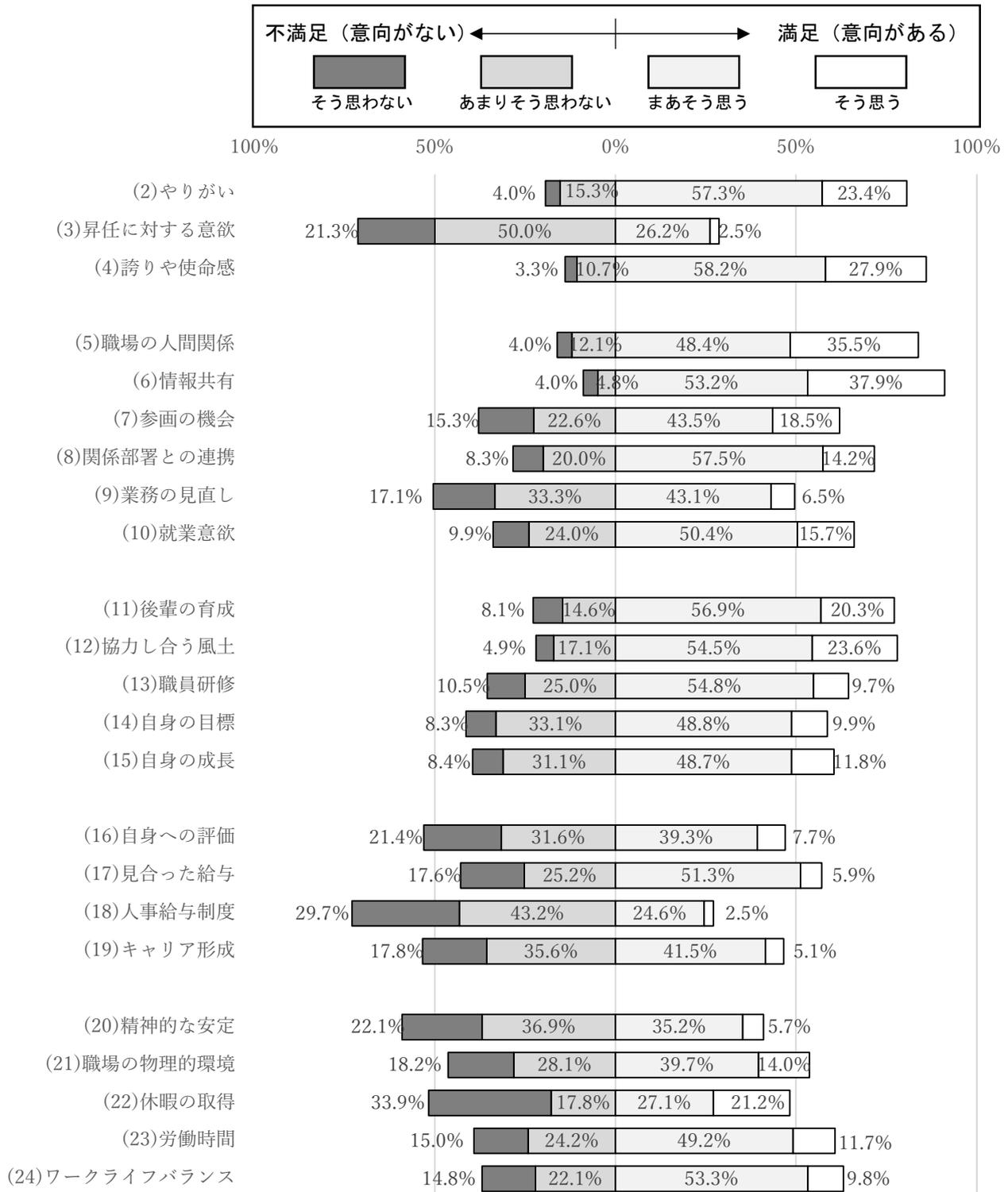


図 4-(12)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **74.2%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

- 前年度より総合的な満足度が5.3ポイント減少している。特に改善度が高いのは「(9)業務の見直し」の満足度を高めることで総合的な満足度の上昇が期待できる。
- 個別満足度の低い「(22)休暇の取得」の改善度がマイナス値となっている。総合的な満足度とは切り離して改善を要する項目と考えられる。

改善度 (消防)

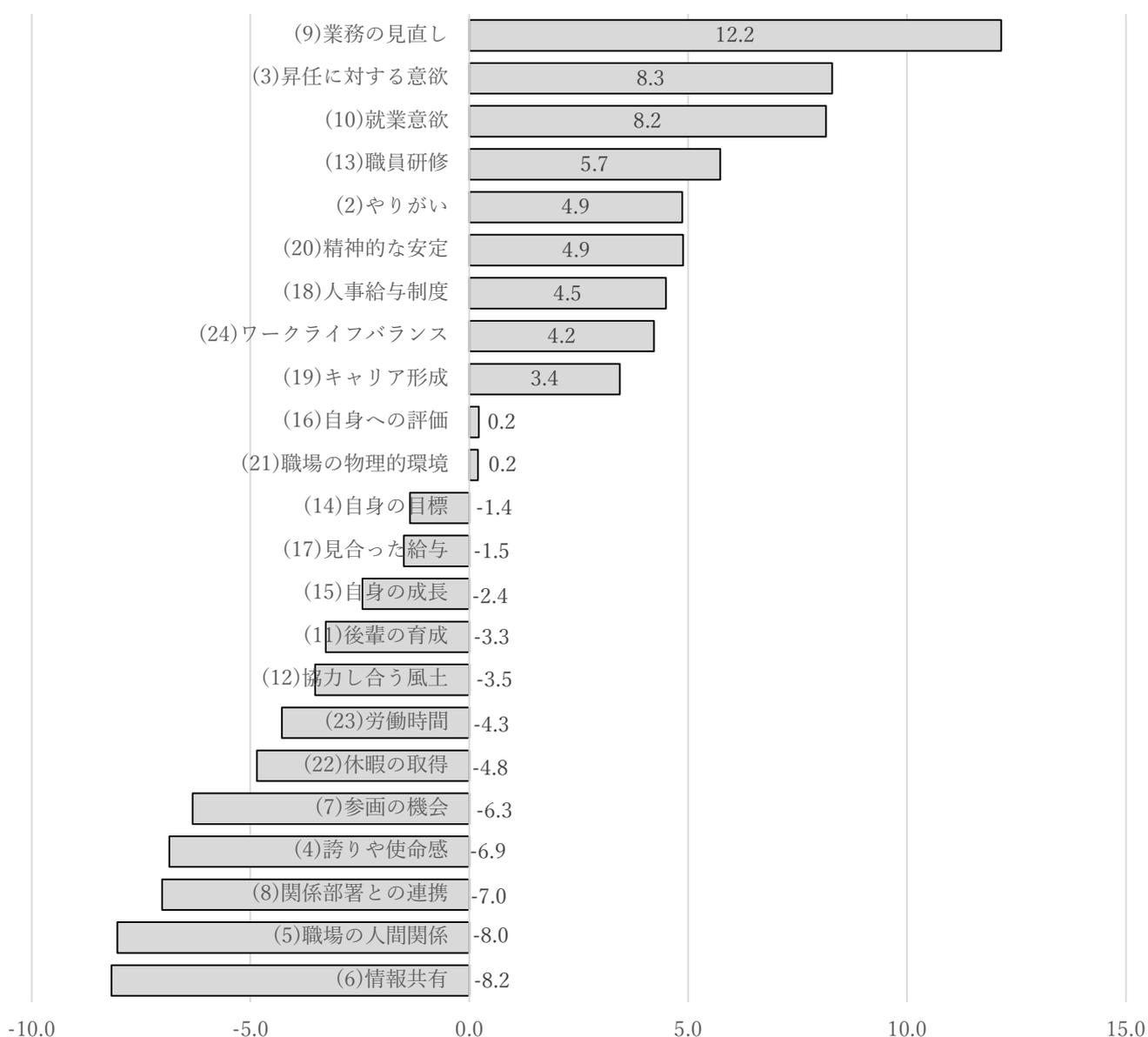


図 4-(12)-2 改善度

## 5. ES分析（年代別）

### (1) 29歳以下

- ほぼ全ての項目で他の年代に比べ満足度が高い。29歳以下で最も満足度が高い項目は「(4) 誇りや使命感」の90.5%。
- 不満足（意向がない）傾向が強い項目は「(3)昇任に対する意欲」「(18)人事給与制度」。

#### 【29歳以下】

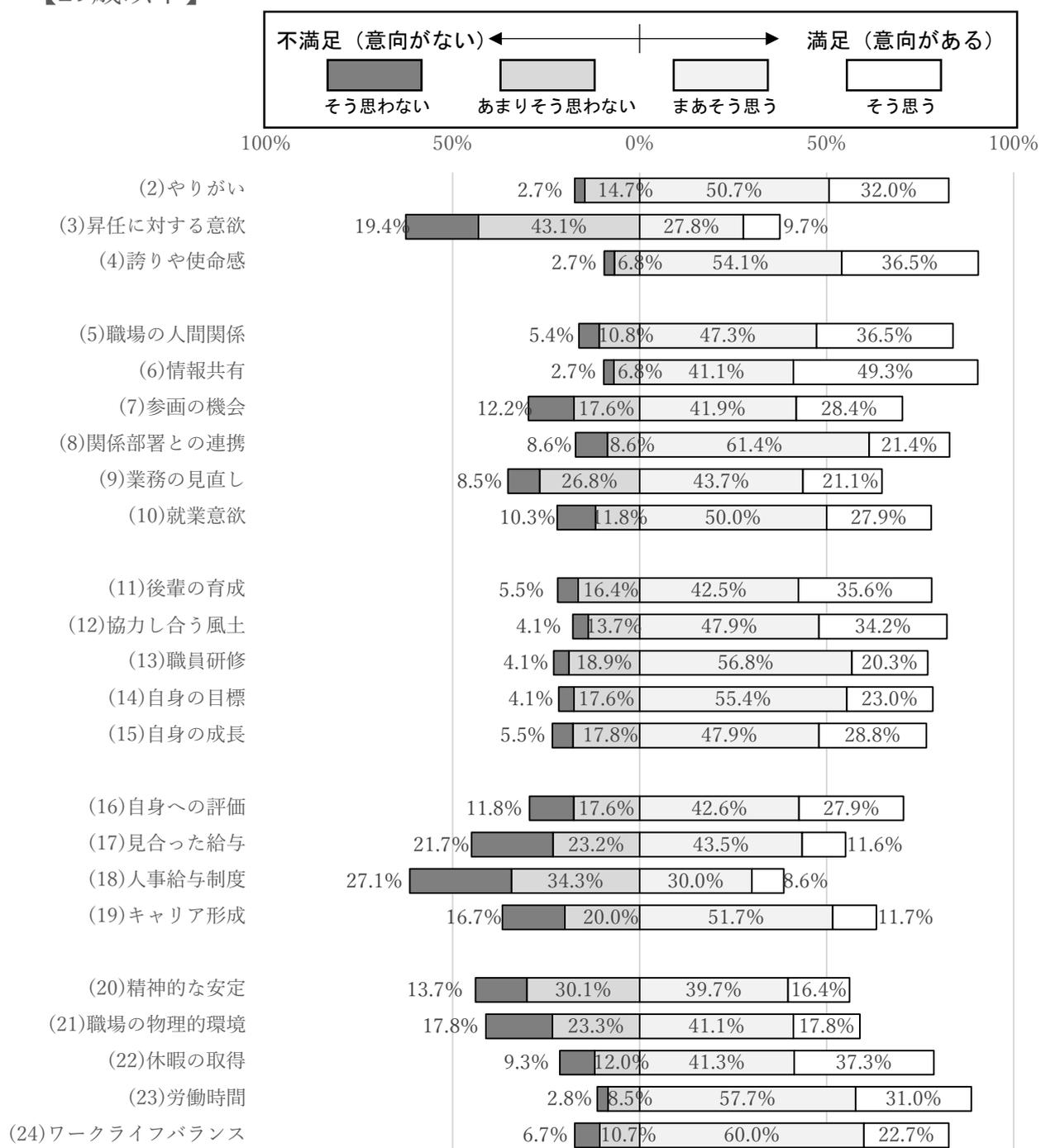


図5-(1)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **78.7%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

○前年度より総合的な満足度は6.9ポイント減少。「(18)人事給与制度」「(3)やりがい」の満足度を高めることで総合的な満足度向上を期待できる。

改善度 (29歳以下)

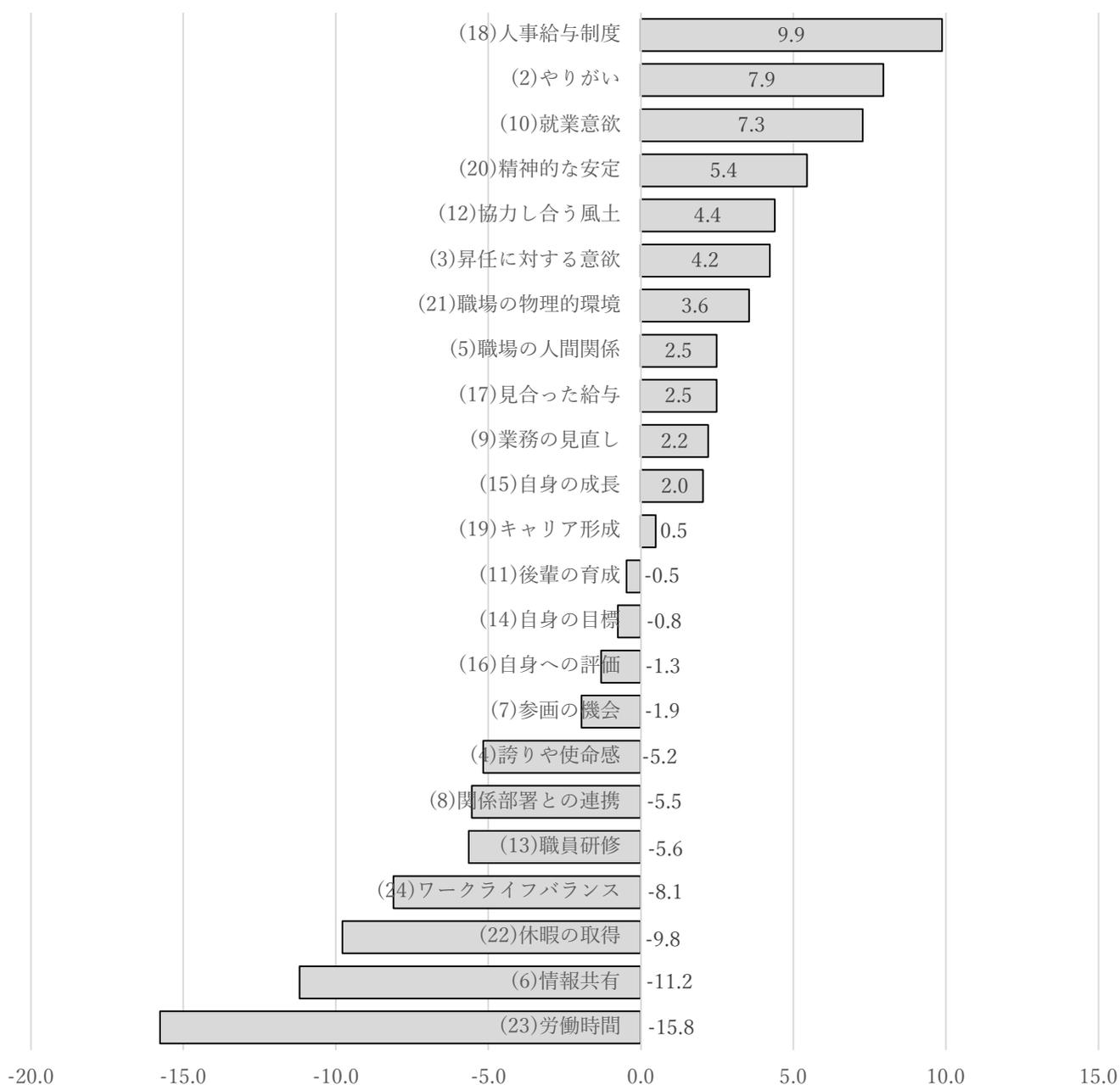


図 5-(1)-2 改善度

## (2) 30～39 歳

○不満足（意向がない）傾向が強い項目は6項目あるが、特に「(18)人事給与制度」の満足度が23.1%と全年代の全項目中最も低い。

### 【30～39歳】

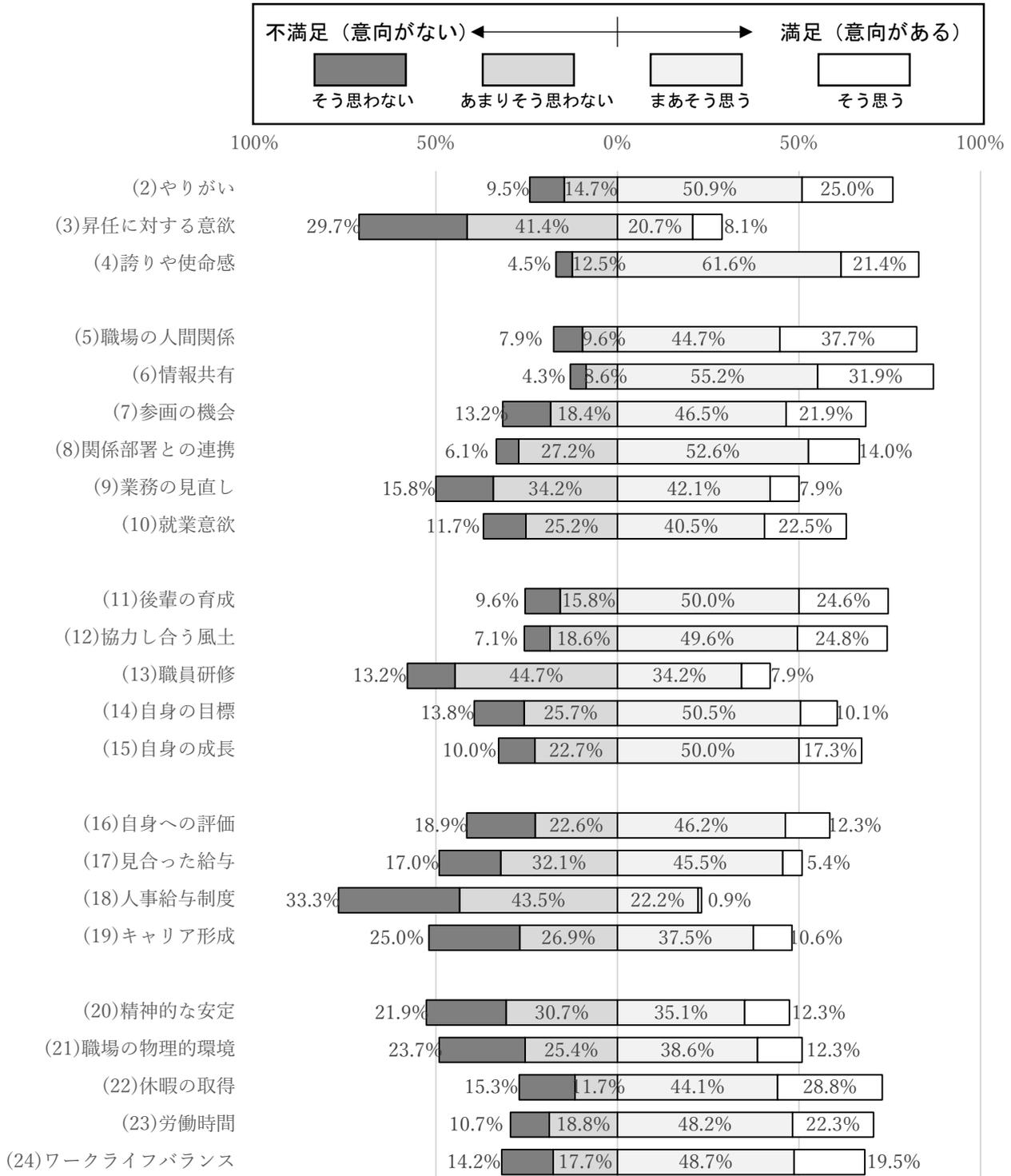


図 5-(2)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **74.1%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

- 前年度より総合的な満足度が 3.9 ポイント増加した。個別満足度が低く、重要度の高い「(20)精神的な安定」「(18) 人事給与制度」の満足度を高めることで総合的な満足度向上を期待できる。

改善度 (30~39歳)

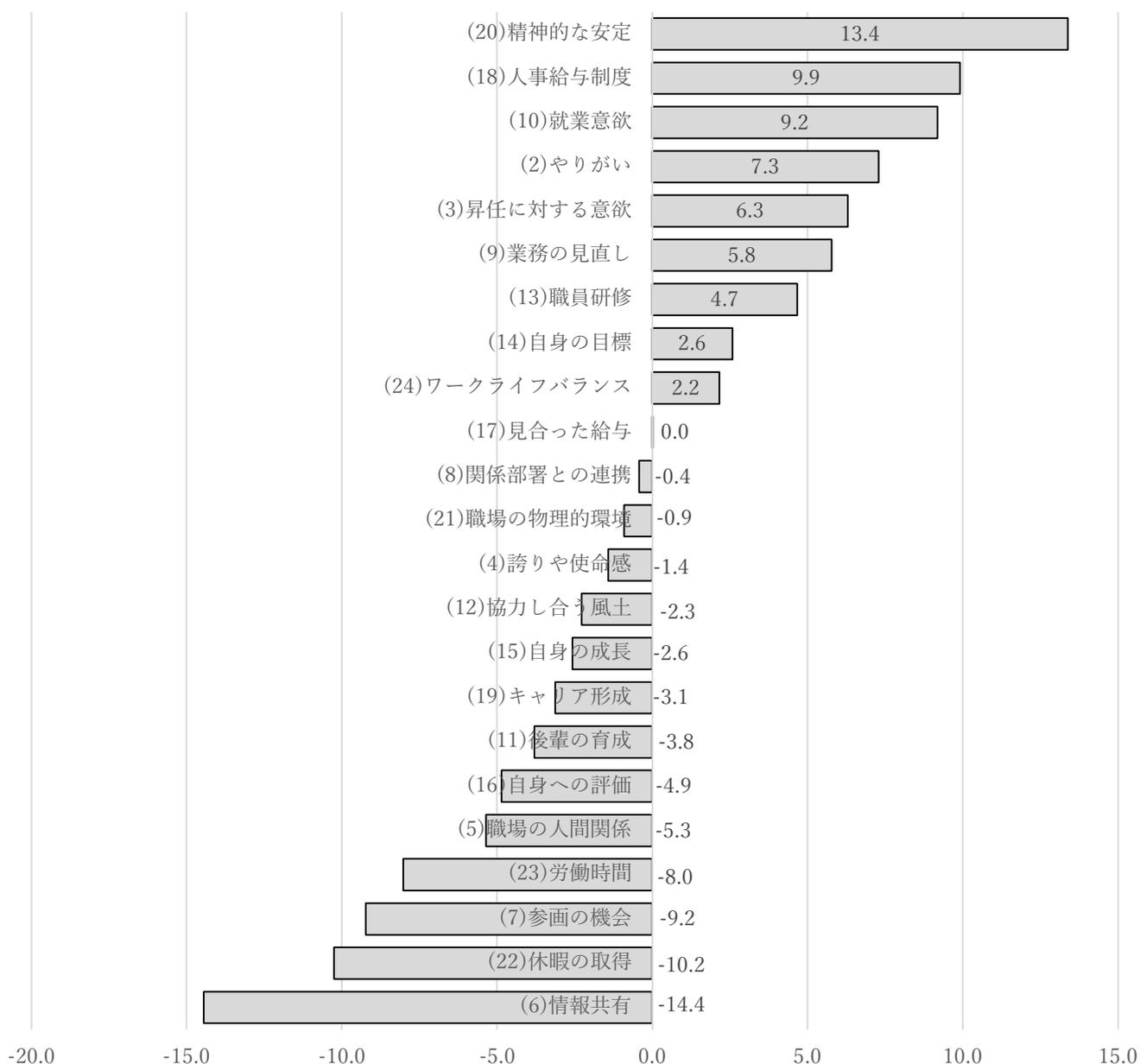


図 5-(2)-2 改善度

### (3) 40～49 歳

○ 不満足（意向がない）傾向が強い項目は5項目ある。そのほかに「(24)ワークライフバランス」の満足度が他の年代に比べ低い。

#### 【40～49歳以下】

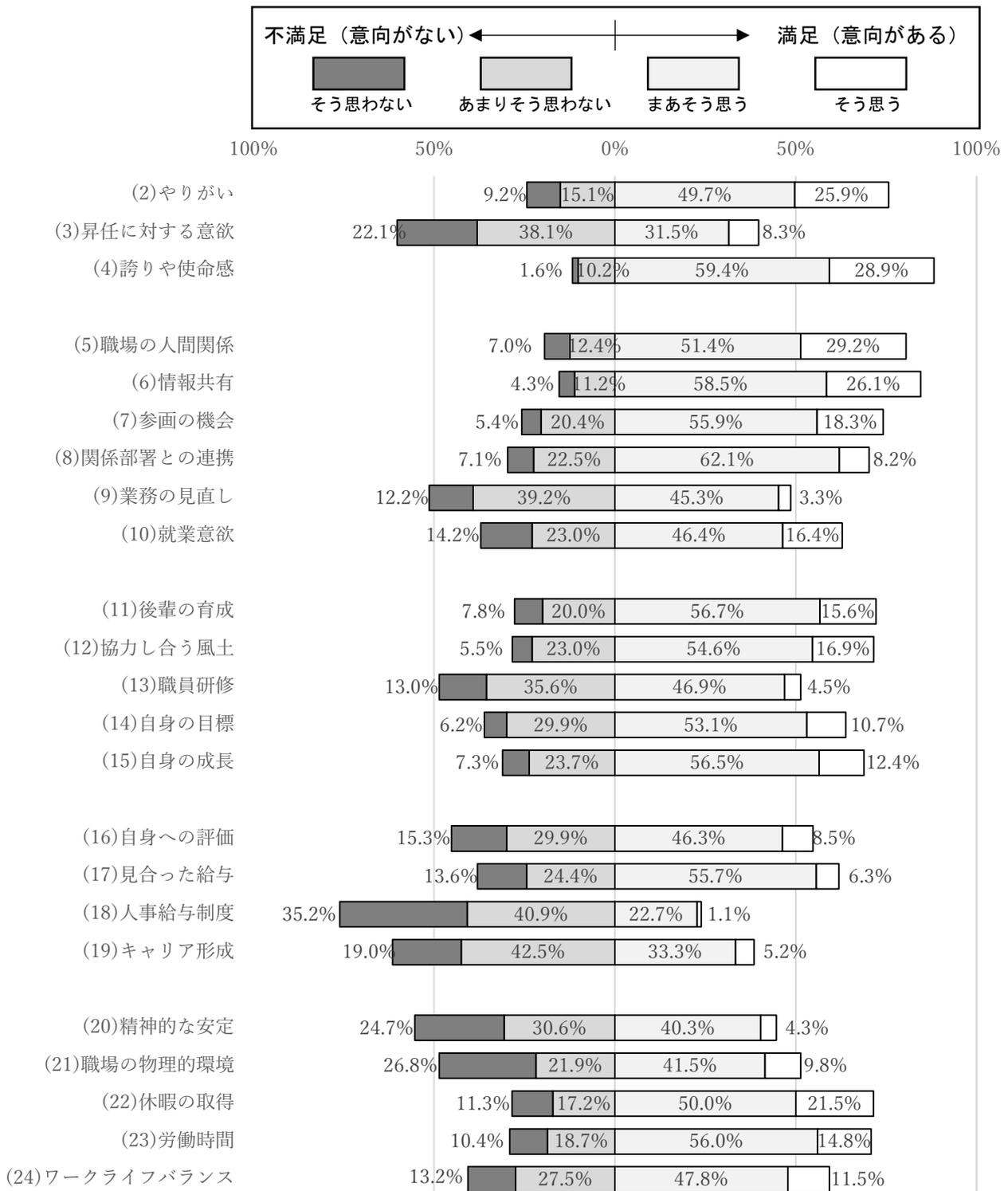


図 5-(3)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **72.3%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

- 前年度より総合的な満足度は微減となっている。個別満足度が低く、重要度の高い「(20)精神的な安定」の満足度を高めることで総合的な満足度向上を期待できる。

改善度 (40~49歳)

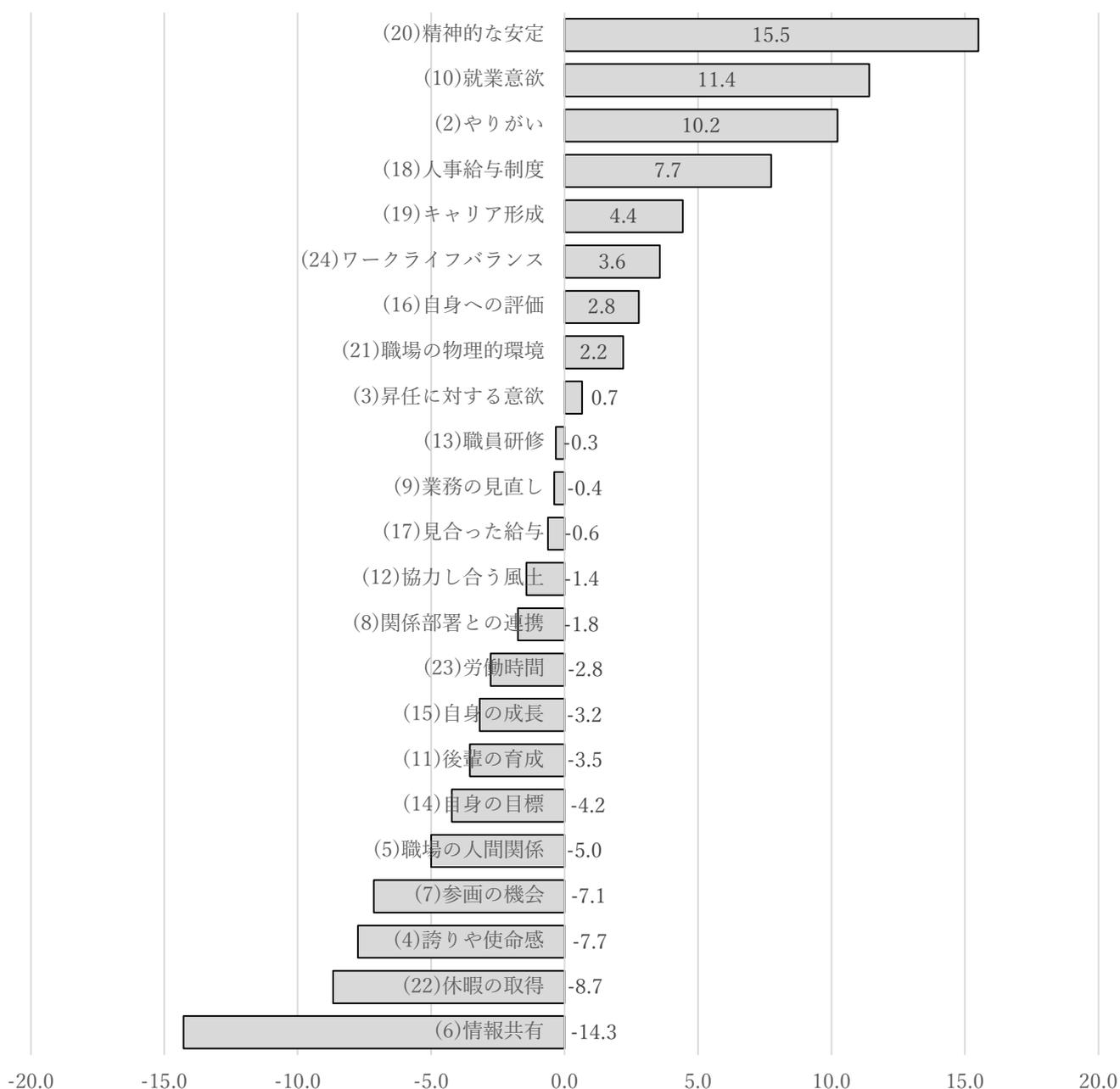


図 5-(3)-2 改善度

## (4) 50歳以上

- 「(4)誇りや使命感」の満足度が92.71%と全年代の全項目中最も高い。
- 不満足（意向がない）傾向が強い項目は 「(3)昇任に対する意欲」「(18)人事給与制度」。

### 【50歳以上】

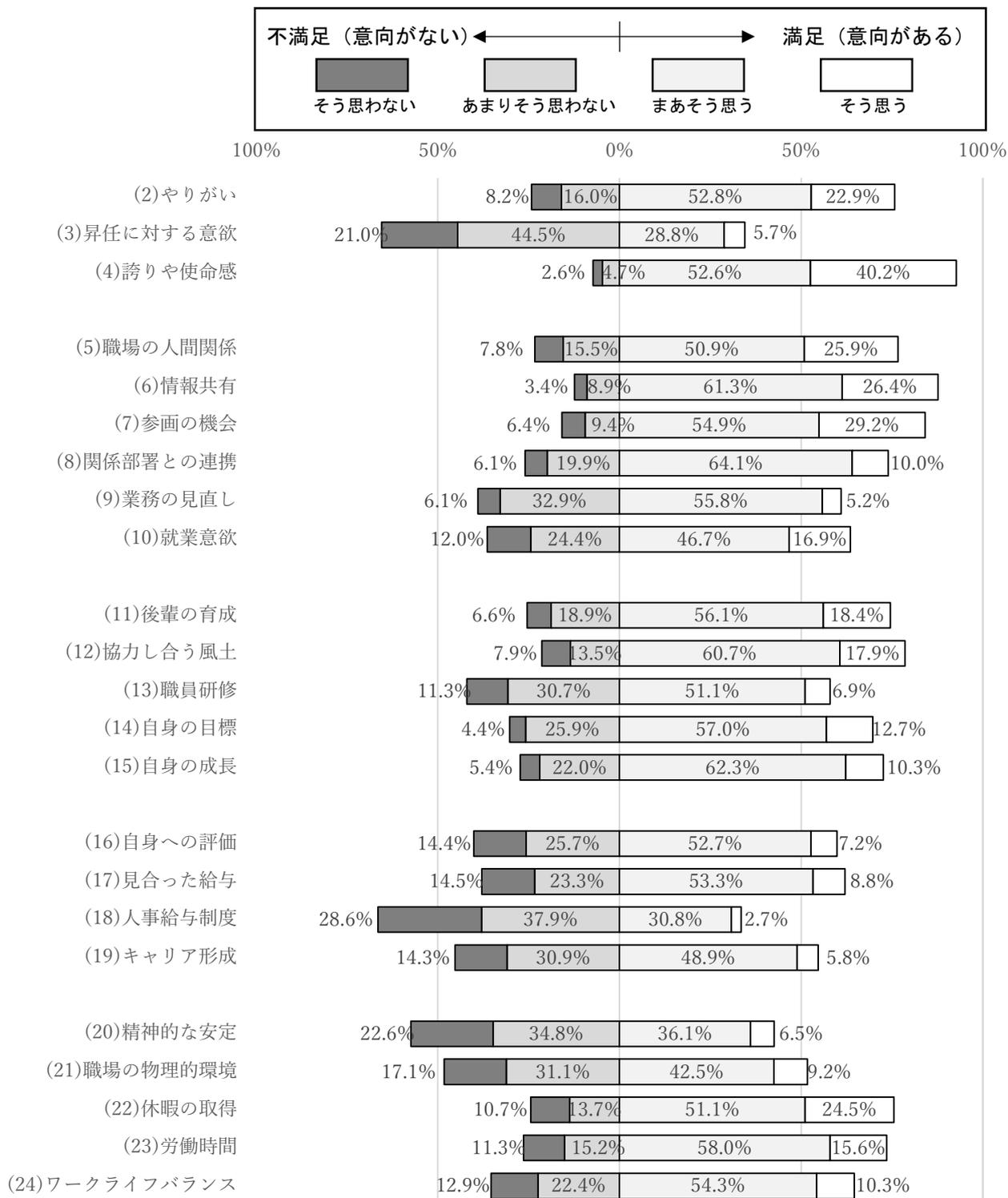


図 5-(4)-1 個別項目の満足度（意向度）

【改善度による重点改善分野の抽出】

2つのグラフを合わせて検討！

(左ページ)  
回答割合の  
単純集計

(右ページ)  
総合満足度の上げ  
やすさを数値化

総合的な満足度 **71.9%** (今回)



さらに満足度を高めるために…

- 前年度より総合的な満足度は6.1ポイント減少。個別満足度が低く、重要度の高い「(20)精神的な安定」の満足度を高めることで総合的な満足度向上を期待できる。

改善度 (50歳以上)

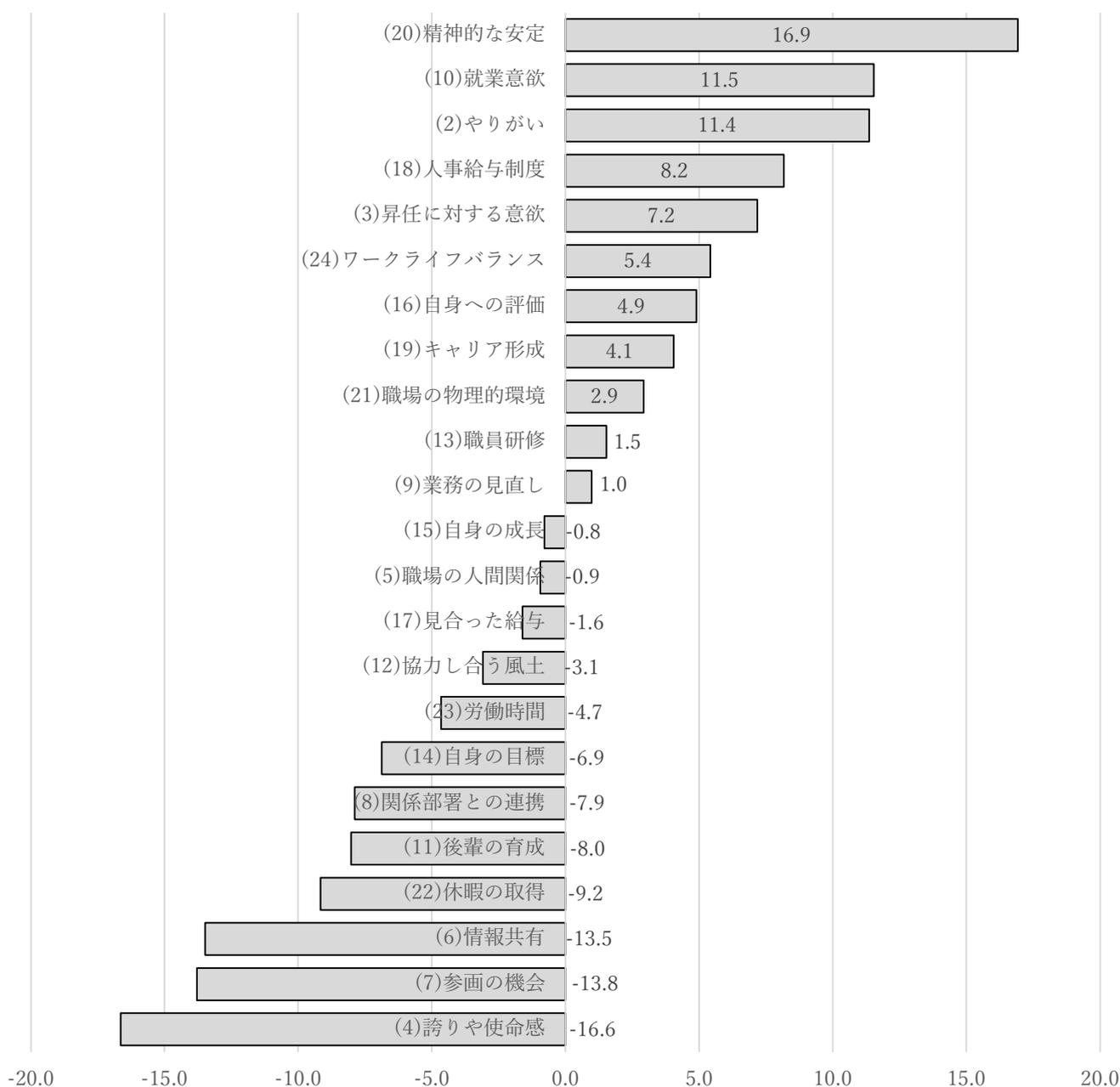


図 5-(4)-2 改善度

## 6. 自由記載

(25) ご意見やご提案などがありましたら、自由に記載してください。

### 【自由記載の概要】

- ・アンケートに関する意見                    30件
- ・アンケート以外に関する意見            159件

執務環境の改善や人員配置、昇任試験、人事評価等に関する意見が特に多く見られた。

## 7. 調査票

### 令和5年度 横手市職員満足度アンケート

このアンケートは、職員の仕事や職場に対する満足度等を把握し、より働きやすく、活気のある職場環境をつくるために実施するものです。  
多くの皆様の積極的な回答をお願いいたします。



あなたが勤務する庁舎を選んでください。

- |                                |                                 |                                       |  |
|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 総務企画部 | <input type="checkbox"/> 財務部    | <input type="checkbox"/> まちづくり推進部（本庁） | <input type="checkbox"/> まちづくり推進部（地域局） |
| <input type="checkbox"/> 市民福祉部 | <input type="checkbox"/> 農林部    | <input type="checkbox"/> 商工観光部        | <input type="checkbox"/> 建設部           |
| <input type="checkbox"/> 上下水道部 | <input type="checkbox"/> 行政委員会等 | <input type="checkbox"/> 教育委員会        | <input type="checkbox"/> 消防            |

あなたの年齢が当てはまるものを選んでください。

- |                                |                                 |                                 |                                |
|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 29歳以下 | <input type="checkbox"/> 30～39歳 | <input type="checkbox"/> 40～49歳 | <input type="checkbox"/> 50歳以上 |
|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|

分野	設問	そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	分からない
総合	問01 総合的に考えて、現在の仕事・職場に満足している。	4	3	2	1	
意識・姿勢	問02 現在の自分の仕事はやりがいがある。	4	3	2	1	0
	問03 より責任のあるポジションに就きたい。	4	3	2	1	0
	問04 横手市の職員として誇りや使命感をもって仕事に取り組んでいる。	4	3	2	1	0
	問05 職場の雰囲気や人間関係は良い。	4	3	2	1	0
職場・組織風土	問06 朝礼やミーティングなどの活用により、仕事に関する情報共有が図られている。	4	3	2	1	0
	問07 職場の方針や業務の進め方の決定に参加する機会がある。	4	3	2	1	0
	問08 関係部署との連携がうまくいっている。	4	3	2	1	0
	問09 仕事の進め方や仕事そのものの見直しにより、業務の効率化が図られている。	4	3	2	1	0
	問10 今後も働き続けたいと思える職場だ。	4	3	2	1	0

分野	設問	そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	分からない
人材育成	問11 直属の上司は、部下に対して熱心に指導・育成にあたっている。	4	3	2	1	0
	問12 あなたの職場では、職員が互いに教え合い、育成し合う風土がある。	4	3	2	1	0
	問13 職員の教育・人材育成について研修が十分に計画されている。	4	3	2	1	0
	問14 横手市職員として「今後こうありたい」という目標がある。	4	3	2	1	0
	問15 横手市役所で働くことで成長できている。	4	3	2	1	0
人事・給与	問16 仕事の実績に加え、仕事のやり方・姿勢も評価されている。	4	3	2	1	0
	問17 自分の仕事内容や責任に見合った給与を受けている。	4	3	2	1	0
	問18 現在の人事給与制度は、意欲ややる気に応えるものとなっている。	4	3	2	1	0
	問19 人事異動は自分のキャリア形成につながっている。	4	3	2	1	0
労働環境	問20 仕事上で過度のストレスを感じることなく働くことができています。	4	3	2	1	0
	問21 自分の職場のオフィス環境（施設・設備面）は良い。	4	3	2	1	0
	問22 休暇を取得しやすい環境である。	4	3	2	1	0
	問23 現在の労働時間は適切である。	4	3	2	1	0
	問24 仕事と生活の両方が充実し、バランスがとれている。	4	3	2	1	0
問25	ご意見やご提案などがありましたら、自由に記載してください。					

アンケートに関する事項

職場改善に関する事項

～ アンケートは以上です ご協力ありがとうございました ～

※自由記載欄に個人情報に記載された場合は、内容を精査の上、適切に対応します。

## 8. 単純集計一覧（属性を除く）

### ■ 項目別回答状況

項目	そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	分からない	合計
(1)総合	112	338	122	42	—	614
(2)やりがい	154	311	93	49	7	614
(3)昇任に対する意欲	44	166	248	135	21	614
(4)誇りや使命感	199	343	49	16	7	614
(5)職場の人間関係	184	299	78	44	9	614
(6)情報共有	184	348	57	23	2	614
(7)参画の機会	148	316	94	49	7	614
(8)関係部署との連携	69	364	124	40	17	614
(9)業務の見直し	42	290	205	60	17	614
(10)就業意欲	112	269	133	73	27	614
(11)後輩の育成	124	318	109	44	19	614
(12)協力し合う風土	125	330	104	39	16	614
(13)職員研修	48	282	199	67	18	614
(14)自身の目標	76	320	153	39	26	614
(15)自身の成長	85	329	129	40	31	614
(16)自身への評価	63	277	146	87	41	614
(17)見合った給与	45	300	148	91	30	614
(18)人事給与制度	15	154	228	181	36	614
(19)キャリア形成	40	237	183	101	53	614
(20)精神的な安定	49	227	194	133	11	614
(21)職場の物理的環境	66	247	157	128	16	614
(22)休暇の取得	157	292	86	70	9	614
(23)労働時間	110	331	96	59	18	614
(24)ワークライフバランス	84	313	130	75	12	614